

所属

市政戦略課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-1 柔軟かつ均衡のとれた土地利用を図ります

施策

4-1-1 土地利用の適切な規制

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進

目的

1 自然環境の保全、地域の産業等に配慮した柔軟かつバランスのとれた総合的な土地利用を推進します。

目標

1 各種法令に基づく開発行為の規制

国土利用計画法等の関係法令の適切な運用を図るとともに、その周知を徹底します。

農用地については、優良農地の確保と適正利用を図るため、農業振興地域の整備に関する法律の規定や農業振興地域整備計画に基づき農業の健全な発展を図ります。また、第2期上山市都市マスタープランに基づき、長期的視野に立ったまちづくりの方向性を示し、持続可能でかみのやまの特性を活かした個性と活力あるまちづくりを進めるとともに、人口減少・少子高齢化に対応した集約型都市構造を目指すため、立地適正化計画を策定し、かみのやま温泉駅東側等の低未利用地の活用を図りながら、まちなかへの居住及び都市機能の誘導を進めます。

実績

1 各種法令に基づく開発行為の規制

(1) 無届の土地売買取引は0件でした。事業者等からの相談、各種開発行為に伴う照会の際には、適切に土地売買届出に関する指導を行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	市内事業者等による無届の土地売買取引件数	0 件	0 件

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市内において広報活動に取り組み、制度に対する理解を深める機会を増やしてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画総務費	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-1-1 土地利用の適切な規制		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

かみのやまの特性を活かした個性あるまちづくりを目指し、都市計画業務全般を行います。

目的

各種協議会への参加や都市計画審議会の開催及び都市計画に関する全般的な業務の遂行を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	本市民が快適に暮らせる状態	まちづくりについて情報共有し議論された状態	まちづくりについて情報共有し議論を行いました。
活動指標	都市計画審議会の開催	2回	1回
	事業費（千円）	1,679	1,592
	従事人工	1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

関連事業の進捗状況から、都市計画審議会に付議する事項を一括して報告したため、年1回の開催となったものです。

目標の実現に向けた今後の取組

都市計画審議会を適宜開催し、都市計画事業をわかりやすく報告します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-1-1 土地利用の適切な規制 4-2-1 魅力的な景観づくりの推進		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進	

事業概要

かみのやま温泉駅周辺を中心に、人口減少下においても、市民が安全・安心で快適に暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを進めるほか、上山城を中心とした都市景観保全ゾーンにおいて、城下町、宿場町及び温泉町としての特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観の創出を図ります。

目的

かみのやま温泉駅東側等の低未利用地の活用を図りながら、まちなかへの居住及び都市機能の誘導を進めるとともに、特に、都市の活力を支える子育て世代の交流や定住の促進を図るため。また、城下町、宿場町及び温泉町として栄えた上山らしい歴史ある景観を保全しながら、景観と調和した建築物等の整備促進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	本市の特色を活かした景観が保たれている状態	本市の特色を活かした景観が保たれた状態	本市の特色を活かした景観が保たれました。
活動指標	ファサード改修事業の実施件数	3 件	2 件
	景観づくり事業の補助件数	3 件	3 件
事業費（千円）		117,410	44,555
従事人工		2.5	3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

ファサード改修事業費補助金については、活用の相談がありましたが、結果的に申請には至らなかった案件があったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、個人や団体等が実施する景観形成の取り組みに対し支援を行っていきます。また、景観への市民意識の醸成を図るため、更なる啓発活動に取り組んでまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-1-1 土地利用の適切な規制 4-2-1 魅力的な景観づくりの推進		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進	

事業概要

かみのやま温泉駅周辺を中心に、人口減少下においても、市民が安全・安心で快適に暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを進めるほか、上山城を中心とした都市景観保全ゾーンにおいて、城下町、宿場町及び温泉町としての特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観の創出を図ります。

目的

かみのやま温泉駅東側等の低未利用地の活用を図りながら、まちなかへの居住及び都市機能の誘導を進めるとともに、特に、都市の活力を支える子育て世代の交流や定住の促進を図るため。また、城下町、宿場町及び温泉町として栄えた上山らしい歴史ある景観を保全しながら、景観と調和した建築物等の整備促進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	駅東エリアにおける居住及び都市機能の誘導が進められた状態	駅東エリアにおける住環境の向上に向けた設計が進んでいる状態	駅東エリアにおける住環境の向上に向けて公園緑道の基本設計を進めました。
活動指標	駅東エリアにおける公園緑道基本設計	1 件	1 件
事業費（千円）		15,000	14,956
従事人工		2.5	2.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

税務課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-1 柔軟かつ均衡のとれた土地利用を図ります

施策

4-1-2 地籍調査の推進

創生総合戦略 該当なし

目的

2 地籍調査の実施により、土地の効率的な利活用のための基礎データを整備します。

目標

1 土地利用のための基礎データの整備

国土調査法に基づいて地籍調査を実施することにより、一筆毎の地籍（所有者・地番・境界・地目・面積）の明確化を図り、土地を高度かつ合理的に開発、保全、利用するための基礎データを整備します。

実績

1 土地利用のための基礎データの整備

(1) 令和5年度は、新たに四ツ谷一丁目、旭町二丁目、新町一丁目、新町二丁目、御井戸丁、新丁及び軽井沢二丁目の各一部（0.12km²）における調査を実施しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	累計進捗率	1.3 %	1.3 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

計画に沿って、着実に地籍調査を実施します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	税務課	事業	地籍調査費	予算科目	01一般会計・02総務費・05統計調査費・03地籍調査費
施策	4-1-2 地籍調査の推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

国土調査法に基づいて地籍調査を実施することにより、一筆毎の地籍（所有者・地番・境界・地目・面積）の明確化を図り、土地を高度かつ合理的に開発、保全、利用するための基礎データを整備します。

目的

公共事業等における土地の効果的な活用かつ適正な課税のため、年度毎に地域を定めて調査測量を行い、調査成果を法務局に送付して、不動産登記法第14条1項に規定する正式な地図として登記するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	調査地域を一年目は計画・事前調査、二年目は境界立会・測量、三年目は地籍図等作成・閲覧、四年目は登記申請として実施する状態	地籍調査業務を適切に実施する状態	地籍調査業務を適切に実施しました。
活動指標	境界立会・測量地域（各一部）	四ツ谷一、旭町二、新町一・二、御井戸丁、新丁、軽井沢二	四ツ谷一、旭町二、新町一・二、御井戸丁、新丁、軽井沢二
	成果閲覧地域（各一部）	新町一、新丁、御井戸丁、湯町、軽井沢一、元城内、鶴脛町	新町一、新丁、御井戸丁、湯町、軽井沢一、元城内、鶴脛町
	成果認証地域（各一部）	矢来四、南町、石堂、長清水一丁目	矢来四、南町、石堂、長清水一丁目
事業費（千円）		29,489	26,083
従事人工		3	3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

予算要求時に見込んだ積算単価の伸びよりも、設計時の積算単価の伸びが低く抑えられました。

目標の実現に向けた今後の取組

計画に沿って、着実に地籍調査を実施します。

所属

建設課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-2 自然・歴史を活かした美しい景観を保全します

施策

4-2-1 魅力的な景観づくりの推進

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進

目的

1 美しい山並みや田園風景等の眺望景観を守りながら、上山城周辺地区における歴史・文化を活かした、上山らしい景観の保全を図ります。

目標

1 景観の保全と啓発活動

歴史・文化を活かした景観の保全を図るため、景観ガイドラインの運用により城下町・宿場町・温泉町として栄えた上山らしい歴史ある景観の保全や、景観と調和した建築物及び看板等の整備促進を行います。あわせて、景観に対する住民の意識向上を図るため、景観ガイドラインや市内の美しい景観等の周知を行います。

実績

1 景観の保全と啓発活動

- (1) ファサード改修事業費補助金について、申請者等との協議を重ね、2件実施しました。
- (2) 小規模改修を対象とした景観づくり推進事業費補助金について、3件実施しました。
- (3) 十日町地区景観・まちづくり協議会において、十日町地区景観ガイドラインの運用、周知を行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	自然・歴史・温泉等本市の特色を活かした景観が保たれていると感じている市民の割合	44 %	40 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

景観を良くする取組に関心がある市民は多いものの、実際に取組を行っている市民が少ないこと等が要因と考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

本市の特色を活かした景観が維持できるように、景観ガイドラインなど景観を良くする取組の手順や方法について周知を行うとともに、ファサード改修や、団体等による景観づくりに対する財政的支援を実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-1-1 土地利用の適切な規制 4-2-1 魅力的な景観づくりの推進		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進	

事業概要

かみのやま温泉駅周辺を中心に、人口減少下においても、市民が安全・安心で快適に暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを進めるほか、上山城を中心とした都市景観保全ゾーンにおいて、城下町、宿場町及び温泉町としての特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観の創出を図ります。

目的

かみのやま温泉駅東側等の低未利用地の活用を図りながら、まちなかへの居住及び都市機能の誘導を進めるとともに、特に、都市の活力を支える子育て世代の交流や定住の促進を図るため。また、城下町、宿場町及び温泉町として栄えた上山らしい歴史ある景観を保全しながら、景観と調和した建築物等の整備促進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	本市の特色を活かした景観が保たれている状態	本市の特色を活かした景観が保たれた状態	本市の特色を活かした景観が保たれました。
活動指標	ファサード改修事業の実施件数	3 件	2 件
	景観づくり事業の補助件数	3 件	3 件
事業費（千円）		117,410	44,555
従事人工		2.5	3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

ファサード改修事業費補助金については、活用の相談がありましたが、結果的に申請には至らなかった案件があったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、個人や団体等が実施する景観形成の取り組みに対し支援を行っていきます。また、景観への市民意識の醸成を図るため、更なる啓発活動に取り組んでまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-1-1 土地利用の適切な規制 4-2-1 魅力的な景観づくりの推進		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進	

事業概要

かみのやま温泉駅周辺を中心に、人口減少下においても、市民が安全・安心で快適に暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを進めるほか、上山城を中心とした都市景観保全ゾーンにおいて、城下町、宿場町及び温泉町としての特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観の創出を図ります。

目的

かみのやま温泉駅東側等の低未利用地の活用を図りながら、まちなかへの居住及び都市機能の誘導を進めるとともに、特に、都市の活力を支える子育て世代の交流や定住の促進を図るため。また、城下町、宿場町及び温泉町として栄えた上山らしい歴史ある景観を保全しながら、景観と調和した建築物等の整備促進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	駅東エリアにおける居住及び都市機能の誘導が進められた状態	駅東エリアにおける住環境の向上に向けた設計が進んでいる状態	駅東エリアにおける住環境の向上に向けて公園緑道の基本設計を進めました。
活動指標	駅東エリアにおける公園緑道基本設計	1 件	1 件
事業費（千円）		15,000	14,956
従事人工		2.5	2.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

市民生活課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-3 自然豊かで快適な環境を保全します

施策

4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護

創生総合戦略 該当なし

目的

1 大気汚染、水質汚濁、騒音等の公害や空き地に起因する環境悪化等の生活環境に関する問題を防止するとともに、多様な動植物の保全等自然との共生に努めます。

目標

1 快適な生活環境と自然環境の保全

市民、事業者からの公害苦情、環境問題に適切に対応し、特に法規制対象外の事例に対しては対応指針を策定し、問題等の早期解決を図ります。また、自然と親しむ市民農園の開設、主な河川の水質の定点測定、湧水のデータ収集管理等生態系や環境に関する基礎的な情報を市民と共有し、多様な動植物を育む自然環境の保護・保全と共生を図ります。

実績

1 快適な生活環境と自然環境の保全

(1) 公害苦情（騒音や悪臭等）、環境問題（不法投棄や空地の雑草繁茂）の事案については、現場確認や当事者からの聴き取りを行いながら問題解決に努めてきましたが、未解決事案が1件ありました。また、市民農園は62人の市民から農地として利用していただきました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	環境に関する苦情の未解決事案件数	0 件	1 件

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

工場からの低周波に関する苦情案件で当事者と話し合い等を行ってきましたが、解決には至りませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

未解決事案については、今後とも市民、事業者等からの環境問題に適切に対応してまいります。また、市民農園については、今後も利用者を募集し、多くの市民からの利用を促してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	市民農園開設費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

市民が余暇を活かした自然に親しむ活動の支援として、市民農園の開設及び運営を行います。

目的

旧上山農業高校遊休地を農地として利活用するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民農園としてより多く貸付され、農地として利用されている状態	新規利用者を募集し、多くの市民から農地として利用されている状態	新規利用者を募集し、多くの市民から農地として利用していただきました。
活動指標	利用できる区画数	66 区画	66 区画
	事業費（千円）	115	67
	従事人工	0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

草刈人夫賃金が見込よりも少なくすみ、また井戸ポンプ修繕がなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

市報やホームページによる利用者の募集を行ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	二酸化炭素排出抑制対策事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護 4-4-1 温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地方公共団体による地域再エネ導入の目標設定や合意形成に関する戦略策定を行うため、本市の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを調査し、その調査結果を区域施策編に反映させます。また、脱炭素先行地域づくり事業への申請を視野に入れ、脱炭素先行地域のエリアや実施内容、実施体制の検討を行います。

目的

2050年までのカーボンニュートラル実現することで、持続可能な社会を形成するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	2050年までのカーボンニュートラル実現に向けた具体的な目標が策定され、計画的に取組が行われている状態。	市内の再エネポテンシャルやエネルギー消費量が把握され、市の計画（区域施策編）に反映されている状態	本市の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを把握し、市の計画（区域施策編）に反映させました。
活動指標	脱炭素に向けた調査実施件数	1 件	1 件
事業費（千円）		16,104	15,363
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、区域施策編にて設定した温室効果ガス（CO₂）削減目標を達成するために、国の補助制度を有効に活用し事業を推進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	二酸化炭素排出抑制対策事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護 減のための啓発活動と事業の推進		4-4-1 温室効果ガス削減	創生総合戦略	該当なし

事業概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地方公共団体による地域再エネ導入の目標設定や合意形成に関する戦略策定を行うため、本市の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを調査し、その調査結果を区域施策編に反映させます。

目的

2050年までのカーボンニュートラル実現することで、持続可能な社会を形成するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	2050年までのカーボンニュートラル実現に向けた具体的な目標が策定され、計画的に取組が行われている状態。	市内の再エネポテンシャルやエネルギー消費量が把握され、市の計画（区域施策編）に反映されている状態	市内の再エネポテンシャルやエネルギー消費量を把握し、市の計画（区域施策編）に反映させました。
活動指標	脱炭素に向けた調査実施件数	1 件	1 件
事業費（千円）		25,050	25,031
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、区域施策編にて設定した温室効果ガス（CO₂）削減目標を達成するために、国の補助制度を有効に活用し事業を推進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	環境衛生費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護 4-4-1 温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

快適な生活環境と自然環境の保全のため、快適環境審議会の開催や有害鳥獣、害虫等の駆除、不法投棄回収の委託、衛生団体への補助等の事業を実施します。

目的

市民、事業者に快適な生活環境を提供し、自然環境を保全するとともに、温室効果ガス排出量削減を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民生活の向上と自然環境の保全が行われている状態	自然環境保全のため各種業務を委託し、環境衛生団体に補助している状態	自然環境保全のため各種業務を委託し、環境衛生団体に補助しました。
活動指標	不法投棄回収回数	40回	40回
	事業費（千円）	12,439	9,155
	従事人工	0.9	0.9

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

生活環境と自然環境の保全のため、有害鳥獣、害虫等の駆除、側溝清掃や河川水質検査の委託、衛生団体への補助等の事業を実施してまいります。

所属 **市民生活課** 振興計画 **第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-4 地球温暖化対策を推進します** 施策 **4-4-1 温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進**

創生総合戦略 **該当なし**

目的

1 温室効果ガス発生抑制のため、ライフスタイルの見直し等の啓発活動や環境教育とともに、再生可能エネルギーの活用を進めるための各種事業を展開します。

目標

1 二酸化炭素（CO₂）排出削減の推進
温室効果ガスの90%以上を占める二酸化炭素排出削減のための施策として、第4期上山市環境率先行動計画で定めたカーボン・マネジメント体制により、市の施設における二酸化炭素排出削減を目指すとともに、削減のための取組を事業者や市民にも普及拡大し、市全体での排出削減を目指します。また、地球温暖化対策地域協議会と連携し、各種事業を行い啓発に努めるとともに、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を推進します。

実績

1 二酸化炭素（CO₂）排出削減の推進
(1) 「上山市カーボン・マネジメント実施計画」により、カーボン・マネジメント体制推進と市の施設から排出される温室効果ガス削減を実施しました。また、地球温暖化対策地域協議会と連携し、エコドライブ講習会や小学生及びその保護者対象のエコ工作教室等の事業を行いました。

	区分	令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	上山市環境率先行動計画における温室効果ガス排出量	4,275 t-co ₂	3,799 t-co ₂

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

主な削減要因は一部公共施設のZEB化による省エネ化、電力会社の変更に伴うものです。また、電気利用への移行により、化石燃料の使用が減少し温室効果ガス排出量が減となったものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

カーボン・マネジメントシステムマニュアルに基づき、着実にカーボン・マネジメント体制を推進してまいります。また、市の公共施設の太陽光設備の導入可能性調査の実施、併せて市全域を対象とした区域施策編の策定及び事務事業編の改訂をしてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	二酸化炭素排出抑制対策事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護 4-4-1 温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地方公共団体による地域再エネ導入の目標設定や合意形成に関する戦略策定を行うため、本市の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを調査し、その調査結果を区域施策編に反映させます。また、脱炭素先行地域づくり事業への申請を視野に入れ、脱炭素先行地域のエリアや実施内容、実施体制の検討を行います。

目的

2050年までのカーボンニュートラル実現することで、持続可能な社会を形成するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	2050年までのカーボンニュートラル実現に向けた具体的な目標が策定され、計画的に取組が行われている状態。	市内の再エネポテンシャルやエネルギー消費量が把握され、市の計画（区域施策編）に反映されている状態	本市の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを把握し、市の計画（区域施策編）に反映させました。
活動指標	脱炭素に向けた調査実施件数	1 件	1 件
事業費（千円）		16,104	15,363
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、区域施策編にて設定した温室効果ガス（CO₂）削減目標を達成するために、国の補助制度を有効に活用し事業を推進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	二酸化炭素排出抑制対策事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護 4-4-1 温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地方公共団体による地域再エネ導入の目標設定や合意形成に関する戦略策定を行うため、本市の再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを調査し、その調査結果を区域施策編に反映させます。

目的

2050年までのカーボンニュートラル実現することで、持続可能な社会を形成するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	2050年までのカーボンニュートラル実現に向けた具体的な目標が策定され、計画的に取組が行われている状態。	市内の再エネポテンシャルやエネルギー消費量が把握され、市の計画（区域施策編）に反映されている状態	市内の再エネポテンシャルやエネルギー消費量を把握し、市の計画（区域施策編）に反映させました。
活動指標	脱炭素に向けた調査実施件数	1 件	1 件
事業費（千円）		25,050	25,031
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、区域施策編にて設定した温室効果ガス（CO₂）削減目標を達成するために、国の補助制度を有効に活用し事業を推進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	環境衛生費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-3-1 環境問題への対応と自然環境の保護 4-4-1 温室効果ガス削減のための啓発活動と事業の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

快適な生活環境と自然環境の保全のため、快適環境審議会の開催や有害鳥獣、害虫等の駆除、不法投棄回収の委託、衛生団体への補助等の事業を実施します。

目的

市民、事業者に快適な生活環境を提供し、自然環境を保全するとともに、温室効果ガス排出量削減を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民生活の向上と自然環境の保全が行われている状態	自然環境保全のため各種業務を委託し、環境衛生団体に補助している状態	自然環境保全のため各種業務を委託し、環境衛生団体に補助しました。
活動指標	不法投棄回収回数	40回	40回
	事業費（千円）	12,439	9,155
	従事人工	0.9	0.9

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

生活環境と自然環境の保全のため、有害鳥獣、害虫等の駆除、側溝清掃や河川水質検査の委託、衛生団体への補助等の事業を実施してまいります。

所属 市民生活課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-5 循環型社会の構築を推進します

施策

4-5-1 3Rの推進

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化

目的

1 ごみの適正かつ安全・安心な処理を図るとともにごみの減量とリサイクルを推進し、循環型社会を構築します。

目標

1 ごみの安全・安心な処理体制の確立と循環型社会の構築

ごみの適正な分別排出と安全・安心な処理体制の確立を目指して、指定ごみ袋による収集を継続するとともに、わかりやすいパンフレットの作成と全戸配布や、エネルギー回収施設の見学会・学習会等を開催します。また、ごみの減量とリサイクルを推進するため、雑紙回収袋の全戸配布、集団資源回収への支援、小型家電のリサイクル、古紙類の行政回収・拠点回収等各種事業を展開するとともに、食品系ごみ減量対策として、食品ロス削減推進のための啓発活動を行います。

実績

1 ごみの安全・安心な処理体制の確立と循環型社会の構築

(1) ごみの適正な分別排出のため、市HPや衛生組合連合会を通じた啓発、広報を行いました。また、ごみ減量とリサイクル推進のため、雑紙回収袋の配布、保存版雑紙回収のチラシ配布、集団資源回収への支援、小型廃家電の窓口及びピックアップ回収、古紙類の行政回収・拠点回収を実施しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	ごみの資源化率	31 %	23 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

資源化率については、資源となる廃棄物や集団資源回収量の減少が大きかったことが考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、ごみの適正な分別排出のため、市ホームページや衛生組合連合会を通じた啓発、広報を行い、また、ごみ減量とリサイクル推進のため、集団資源回収への支援や小型廃家電の窓口及びピックアップ回収等を実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	リサイクル推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-5-1 3Rの推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

有料ごみ袋の製造、保管、配送等の業務やリサイクルを推進するため、集団資源回収への奨励金や雑紙袋の製作などの事業を実施します。

目的

ごみの適正な分別及び排出の周知を図り、リサイクルを推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民全員が適正な分別を行い、違反ごみが発生しない状態	市民全員が適正な分別を行い、違反ごみが発生しない状態	回収できない違反ごみが0.1%未満程度発生しました。
活動指標	衛生組合連合会の広報周知回数	2回	2回
	事業費（千円）	37,021	33,776
	従事人工	0.8	0.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

違反ごみが発生しないよう、引き続き電話や窓口等でのごみ分別の問合せ対応や衛生組合連合会の広報誌やホームページ等を通じて周知啓発を図ります。また、資源物量の増加のために、今後も雑紙袋配布や資源回収への奨励金支給を継続して行ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	清掃総務費	予算科目	01一般会計・04衛生費・02清掃費・01清掃総務費
施策	4-5-1 3Rの推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

山形広域環境事務組合に対する負担金としての運営費、処理費、建設費などの支出や、閉鎖施設の適正な維持管理を実施します。

目的

廃棄物の安全・安心な処理体制の確立のための事業を推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	安全・安心な廃棄物の処理体制が確立された状態	安心・安全な廃棄物の処理体制が確立された状態	清掃工場において、安全・安心な廃棄物の処理体制が確立されました。
活動指標	エネルギー回収施設の稼働率	100 %	100 %
事業費（千円）		352,044	351,756
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

廃棄物の安全・安心な処理体制のため、山形広域環境事務組合に対して、運営費、処理費、工事建設費等の負担金を支出してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	廃棄物処理事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・02清掃費・02塵芥処理費
施策	4-5-1 3Rの推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内の廃棄物の収集運搬、処理を実施します。

目的

廃棄物の処理に関し業務委託を行い適正な処理を図るとともに、一人世帯の排出に助成するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民及び受託業者が廃棄物の適正な処理を行い、快適な環境が構築される状態	違反シールを貼られることに対する問い合わせがほとんどない状態	違反シールを貼られることに対する問い合わせが4件ありました。
活動指標	ごみ収集運搬の延べ回数	160 回	161 回
事業費（千円）		139,455	138,718
従事人工		0.8	0.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

一般廃棄物処理実施計画に基づき、市民が適正な排出を行い、収集運搬受託業者において適切に廃棄物の収集運搬、処理をしてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	リサイクルリレーセンター管理費	予算科目	01一般会計・04衛生費・02清掃費・02塵芥処理費
施策	4-5-1 3Rの推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

市内の集積所から収集したごみを各処理施設へ搬出する中継業務や市民からの直接搬入ごみの受付業務などを実施します。

目的

リサイクルリレーセンターの適正な施設維持管理のため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	ごみの安全・安心な処理体制の確立と循環型社会の構築される状態	計画的なごみ収集とリサイクルに取り組む状態	計画的なごみ収集とリサイクルに取り組みました。
活動指標	リサイクルリレーセンターの稼働率	100 %	100 %
	事業費（千円）	39,064	36,782
	従事人工	0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も市民にわかりやすいごみ分別収集の広報や啓発を行い、ごみ減量とリサイクル推進のために、雑紙袋の配布や資源物回収を継続して行ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	元クリーンセンター解体事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・02清掃費・02塵芥処理費
施策	4-5-1 3Rの推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

平成14年3月に廃止された廃棄物焼却施設である元クリーンセンターを解体撤去します。

目的

廃止施設を解体撤去することにより、地域住民の安心な生活に寄与するため

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	施設が解体撤去された状態	元クリーンセンターの解体撤去された状態	元クリーンセンターを解体撤去しました。
活動指標	解体撤去された割合	100 %	100 %
事業費（千円）		342,870	342,870
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

農林夢づくり課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-6 森林と農地の維持保全を図ります

施策

4-6-1 健全な森林づくり

創生総合戦略 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

目的

1 森林経営管理法や上山市森林整備計画に基づき、適切な森林管理を行い多面的な機能が発揮できる森林資源の整備を推進します。

目標

1 計画的な森林整備の推進

森林経営管理法や上山市森林整備計画に基づき、森林の適正な管理に努め、計画的に森林施業を実施するとともに、市管理林道施設について維持管理を行います。また、松くい虫等による被害拡大を防止するため、森林病虫害防除事業を実施し、森林の荒廃防止に努めます。

実績

1 計画的な森林整備の推進

(1) 上山市森林整備計画等に基づき、森林の適正な管理に努め、計画的に森林施業を実施するとともに、市管理林道施設について維持管理を行いました。また、森林病虫害防除事業を実施し、森林の荒廃防止に努め、森林の公益的機能の保全を図りました。

	区分	令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	民有林の森林施業面積	10 ha	10 ha

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

林業事業者に美しい森林づくり基盤整備事業補助金の活用を促すほか、森林経営管理制度を推進し、民有林における森林施業の推進を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	林業総務費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・02林業費・01林業総務費
施策	4-6-1 健全な森づくり			創生総合戦略	該当なし

事業概要

市管理林道（30路線、69km）の維持管理を適正に行い、林業の振興を図ります。 また、「西山ふるさと公園」「三吉山森林公園」の維持管理について地元管理協力会への一部を委託し適正に管理します。

目的

市管理林道や森林公園施設の適切な維持管理を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市管理林道及び森林公園が適切に管理された状態	市管理林道及び森林公園が適切に管理されている状態	市管理林道及び森林公園を適切に管理しました。
活動指標	市管理林道及び森林公園に対する苦情対応率	100 %	100 %
	事業費（千円）	4,143	3,662
	従事人工	0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、地元の管理協力会等の協力を得ながら、市管理林道や森林公園の見回りを実施し、適正な管理を実施していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	森林経営管理事業費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・02林業費・02林業振興費
施策	4-6-1 健全な森林づくり		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

森林経営管理制度に基づき、森林所有者の確認、面積及び境界の明確化を図りつつ、森林の経営状況を把握し、森林経営管理権の集積を図るとともに森林資源の適正な管理を行う。

目的

森林管理の適正化の促進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	森林の経営状況が把握されている状態	森林の経営状況が把握されている状態	森林の経営状況が把握されました。
活動指標	森林所有者への所有者の明確化と意向調査件数	1 件	1 件
	全体計画策定	—	—
事業費（千円）		12,113	11,428
従事人工		0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

上山市森林経営管理制度実施方針を基に、森林境界明確化や森林調査を実施しながら制度の推進を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	林業用施設災害復旧事業費（単独）	予算科目	01一般会計・11災害復旧・01農林水産業施設災害復旧費・02林業用施設災害復旧費
施策	4-6-1 健全な森林づくり			創生総合戦略	該当なし

事業概要

林業用施設の災害復旧に対応する事業を行うものです。

目的

林業用施設に災害が発生した場合に早急に対応するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	林業用施設に災害が発生した場合に早急な対応が図られる状態	災害が発生した場合に早急な対応ができる状態	災害が発生した場合に早急な対応が図られました。
活動指標	災害復旧工事の着手率	100 %	100 %
事業費（千円）		2,000	1,201
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

林業用施設に災害が発生した場合には、早急に適切な対応が図られるよう努めてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	林業振興事業費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・02林業費・02林業振興費
施策	3-1-4 豊かな森林資源の活用 4-6-1 健全な森林づくり		創生総合戦略	5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進	

事業概要

市有林の森林施業を行うとともに民有林の搬出間伐を支援し森林資源を有効に活用します。また、森林の病虫害被害拡大防止のため森林病虫害防除事業を実施し、森林の荒廃防止に努めます。

目的

標準伐期例を迎えた森林資源の有効活用と森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市有林における森林施業と森林病虫害防除事業の実施により森林の保全が図られている状態	森林の保全が図られている状態	森林の保全が図られました。
活動指標	市有林間伐等面積	5 ha	4.85 ha
	森林病虫害被害木処理材積量	200 m ³	202.9 m ³
	市有林整備箇所	1 箇所	1 箇所
事業費（千円）		29,516	21,094
従事人工		0.7	0.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

市内の民有林、市有林の適切な施業を推進し、健全な森林環境の保全に努めてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	やまがた緑環境税事業費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・02林業費・02林業振興費
施策	3-1-4 豊かな森林資源の活用 4-6-1 健全な森林づくり		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

やまがた緑環境税を活用した、市民参加の森づくり活動や森林整備を推進します。

目的

市民が森づくりに参画する機会を設けるとともに、やまがたみどり環境税のPRをするため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	森づくり活動に市民が参加している状態	森づくり活動に市民が参加している状態	森づくり活動に市民が参加している状態になりました。
活動指標	森づくり活動回数	11回	11回
	事業費（千円）	1,788	1,691
	従事人工	0.25	0.25

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、やまがた緑環境税を活用し、市民が森づくり活動に参加できる事業を推進してまいります。

所属

農林夢づくり課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-6 森林と農地の維持保全を図ります

施策

4-6-2 農地の多面的機能の保全管理

創生総合戦略 該当なし

目的

2 日本型直接支払制度を活用し農地の有する多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理に努めます。

目標

1 日本型直接支払制度活用による多面的機能の維持・発揮

農地の有する多面的機能が今後とも適切に維持・管理されるとともに、担い手への農地集積を後押しするため、日本型直接支払制度を有効活用し、地域農業者等による共同活動を支援します。

実績

1 日本型直接支払制度活用による多面的機能の維持・発揮

(1) 農地の有する多面的機能が今後とも適切に維持・管理されるとともに、担い手への農地集積を後押しするため、日本型直接支払制度を有効活用し、地域農業者等による共同活動を支援しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	制度を活用して取り組む農業者団体数	40 団体	41 団体

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

農地の有する多面的機能の維持・発揮を図る活動に取り組む団体の効率的な運営についての情報提供等の支援を行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	農地保全事業費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・01農業費・05農地費
施策	4-6-2 農地の多面的機能の保全管理			創生総合戦略	該当なし

事業概要

農地や農業用施設の整備及び保全に係る事業を行うとともに、全国棚田連絡協議会負担金に伴う事業並びに鉍毒対策事業に建設された農業用水利施設の維持管理経費に対して補助を行います。

目的

農地や農業用施設の整備や維持保全を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市管理の農業用施設が適正に管理されている状態	市管理の農業用施設が適正に管理された状態	市管理の農業用施設を適正に管理しました。
活動指標	農道や農地施設に対する苦情対応率	100 %	100 %
事業費（千円）		6,523	5,301
従事人工		0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

農地の多面的機能を保全するため、市管理の農業用施設の管理並びに鉍毒対策のための農業用水利施設の維持管理経費への補助を実施していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	中山間地域等直接支払事業費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・01農業費・05農地費
施策	4-6-2 農地の多面的機能の保全管理		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続する集落協定に対し補助金を交付します。

目的

中山間地における耕作放棄地の減少を図るとともに農地の多面的機能の発揮を促進し、共同作業をとおして集落の結束、互助精神を助長するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	認定農用地や農業用施設の維持保全されている状態	認定農用地や農業用施設が適切に保全された状態	認定農用地や農業用施設が適切に保全されました。
活動指標	事業説明会等の開催回数	1回	0回
事業費（千円）		43,660	42,260
従事人工		0.25	0.25

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

新型コロナウイルス感染症対策のため、対面形式の説明会開催を控え書面開催としたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

集落協定の共同活動への支援を通し、農地の多面的機能の発揮を促進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	多面的機能支払事業費	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・01農業費・05農地費
施策	4-6-2 農地の多面的機能の保全管理		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

農地の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、担い手への農地集積を後押しするため、日本型直接支払制度を有効活用し、地域農業者などによる共同活動を支援します。

目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	認定農用地や農業用施設の維持保全されている状態	認定農用地や農業用施設が適切に保全された状態	認定農用地や農業用施設が適切に保全されました。
活動指標	事業説明会等の開催回数	1回	1回
	事業費（千円）	50,965	42,158
	従事人工	0.25	0.25

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

活動組織の共同活動への支援を通して、農業・農村の有する多面的機能の維持発揮を促進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	基金積立金	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・01農業費・05農地費
施策	4-6-2 農地の多面的機能の保全管理		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

ふるさと水と土保全対策基金の利子積立を行うものです。

目的

基金の利子を積み立てるため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	基金の運用が維持されている状態	基金の運用が維持された状態	基金の運用を維持しました。
活動指標	利子積立金額	2 千円	0 千円
事業費（千円）		2	0
従事人工			

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

基金創設時当初の目的を達成したことから、令和5年度において基金を廃止しました。今後は、多面的機能支払交付金事業をはじめとする農村振興に関する事業制度を活用していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	農林夢づくり課	事業	農業用施設災害復旧事業費（単独）	予算科目	01一般会計・11災害復旧費・01農林水産業施設災害復旧費・01農業用施設災害復旧費
施策	4-6-2 農地の多面的機能の保全管理			創生総合戦略	該当なし

事業概要

農業用施設の災害復旧に要する事業を行うものです。

目的

農地や農業用施設の災害が発生した場合に早急に対処するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	農地や農業用施設の災害が発生した場合に早急な対応が図られる状態	災害が発生した場合に早急な対応ができる状態	災害が発生した場合に早急な対応が図られました。
活動指標	災害復旧工事の着手率	100 %	100 %
事業費（千円）		3,000	170
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

農地や農業用施設の災害発生時には、早急に適切な対応を行うよう努めてまいります。

所属 市政戦略課 振興計画 第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-7 公共交通を確保し利便性を高めます 施策 4-7-1 誰もが利用しやすい公共交通の整備

創生総合戦略 4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 利用しやすい公共交通環境の整備 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

目的

- 1 地域住民の足として必要不可欠な公共交通の確保及び利便性の向上に取り組みます。

目標

1 公共交通の確保

市営バス、市営予約制乗合タクシーを運行し、交通弱者の足及び地域の利便性を確保するとともに、民間バス事業者への支援を継続して行い、バス路線の維持を図ります。また、鉄道についても、さらなる利便性向上を求め関係機関へ働きかけを行います。

2 公共交通の利便性向上と利用促進

地域の特性や利用者のニーズを踏まえて市営バス、市営予約制乗合タクシーの運行本数や時間帯等の運行内容を見直します。また、市が運営する公共交通と民間事業者が運営する公共交通の乗り継ぎがスムーズにできるよう効率的な運行を行い、誰もが利用しやすい公共交通を確保します。

実績

1 公共交通の確保

- (1) 地域住民の日常生活に不可欠な5路線（棚木線、生居線、菖蒲線、赤山線、久保手線）について、バス事業者である山交バス株式会社に対し運行経費を補助し、路線確保に努めました。
- (2) 市街地南部を循環する市営バス市内循環線を1日10便運行しました（運行日数356日）。
※山交バス赤山線廃線に伴い、運行エリアを拡大（長清水、南中学校口、三本松、红柿団地にバス停留所を追加）しました。
- (3) 会員登録を行った方を対象に西郷地区、本庄地区、東地区、宮生地区（宮脇の国道13号北西側を除く。）、中川地区（糸目、仙石（国道13号西側を除く。）、高野、薄沢、永野、蔵王、坊平）、中山地区と市街地の公共機関、医療機関等を結ぶ市営予約制乗合タクシーを運行しました（運行日数356日）。
※山交バス赤山線、菖蒲線、生居線廃線に伴い、運行エリアを拡大（本庄地区、東地区、宮生地区（宮脇の国道13号北西側を除く。）を追加）
※地区要望に伴い、中川地区における交通不便エリアの改善に向け、運行エリアを拡大（糸目、仙石（国道13号北西側を除く。）、坊平を追加）

2 公共交通の利便性向上と利用促進

- (1) 市営バス市内循環線において、地域連携ICカードによる運賃の支払いが可能となるよう、車両にICリーダを設置しました。
- (2) 上山市公共交通ブックを作成・全戸配布を行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	市営バス利用者数	5,000 人	6,499 人
	市営予約制乗合タクシー利用者数	8,900 人	8,221 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

市営予約制乗合タクシーの利用者数について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となった後も、乗合タクシーの性質上、不特定多数との密接が避けられないことを危惧した利用者が一定数存在していることが原因と考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市民が安心して公共交通を利用できる環境を整えてまいります。また、費用対効果を重視するとともに、民間事業者や関係機関と調整を図り、市民の利便性向上につながる運行内容の見直しを進めてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	公共交通事業費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・06企画費
施策	4-7-1 誰もが利用しやすい公共交通の整備		創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 利用しやすい公共交通環境の整備 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進	

事業概要

市営予約制乗合タクシーを西郷・中山・中川（高野・薄沢・永野・葦王）地区において運行し、また市営バス市内循環線を市街地において運行するとともに、民間バス事業者への支援を継続して行い、バス路線の維持を図ります。また、令和5年10月から、市営予約制乗合タクシー及び市営バスの運行エリアを拡大します。（拡大予定エリア・・・市営予約制乗合タクシー：本庄・東・宮生・中川（糸目・仙石・坊平）地区/市営バス：本庁（長清水・三本松）地区）

目的

交通弱者の足を確保するとともに、誰もが利用しやすい公共交通を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	誰もが利用しやすい公共交通が確保されている状態	交通弱者をはじめ、市民が利用しやすい公共交通が整備されている状態	市営バス市内循環線及び市営予約制乗合タクシーを運行しました。 バス事業者に補助金を交付し、路線を維持しました。
活動指標	市営予約制乗合タクシー運行日数	356 日	356 日
	市中心部循環バス運行日数	356 日	356 日
事業費（千円）		72,542	61,007
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

令和5年10月から拡大した市営予約制乗合タクシーの運行エリアの登録者が伸び悩んだことに伴い、想定よりも市営予約制乗合タクシーの利用者が少なかったことが原因と考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市民の足としての公共交通の確保に努めるとともに、市民ニーズを踏まえ、市営バス市内循環線・市営予約制乗合タクシーの利便性を高めてまいります。

所属

建設課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-8 暮らしを支える道路を整備します

施策

4-8-1 道路環境の充実

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進

目的

1 道路維持整備の計画と生活道路への官民協働の補助制度を整備しながら、住民の理解を深めます。また、東北中央自動車道の開通を好機として、かみのやま温泉インターチェンジの利用者増加とインターチェンジ周辺のアクセス環境の向上を図り、地域の魅力を高めます。また、地方版自転車活用推進計画については、県が今後策定する「山形県自転車ネットワーク計画」及び庁内関係課の自転車活用施策を調整・協議し、計画策定を検討します。

目標

1 道路維持整備の推進

道路維持整備の計画に基づき、計画的かつ予防保全的な維持管理を行い、予算の平準化とコスト縮減を目指して、安全で最適な道路管理状態を保ちます。また、道路の改修における様々な住民ニーズに対し、柔軟に早期解決を図るための補助制度の充実を図ることで、身近な生活道路や生活環境の改善を図ります。さらに、東北中央自動車道のかみのやま温泉インターチェンジ周辺のアクセス環境の向上を図ります。

2 道路への住民理解と周知

道路維持管理における行政の役割と市民が担い協働すべき点を明確にし、住民理解を得るための周知を行い、地域による道づくりを進めます。除排雪については、除雪機械の整備充実と民間企業活用の拡大を図り、地域住民と連携しながら雪処理に努めます。

実績

1 道路維持整備の推進

- (1) 通行の利便性を向上させるため、市道西山町通り線及び市道金生金谷線等の側溝改良工事を実施しました。
- (2) 老朽化した橋梁や舗装の長寿命化を図るため、橋梁補修工事や舗装改良工事を実施しました。
- (3) 道路の安全性を確保するため、長清水地下道排水対策や前川河岸通り線防護柵更新並びに区画線の更新を実施しました。

2 道路への住民理解と周知

- (1) 地域のみちづくりサポート事業は、11団体の申請を受け11団体を採択し実施しました。
- (2) 公共物等整備事業は1団体（金谷）に助成し実施しました。
- (3) 除雪事業に対する地域連携の取組として、小型除雪機を12団体に貸与しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	補助制度の活用団体数	15 団体	12 団体
	道路への住民満足度	35 %	25 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

道路に対する市民ニーズが多様化する中、国道・県道を含む道路全体に対する住民満足度について、道路整備や除雪等への住民理解を得るための周知が今後も必要と考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き補助制度の周知を行い活用を促進することで、道路の利用者の利便性が向上するよう効率的、効果的な取組を推進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	土木総務費	予算科目	01一般会計・08土木費・01土木管理費・01土木総務費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

道路改良維持等の土木業務に関する事務等を行います。

目的

市道等の社会資本の充実を図り、市民生活の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	通行車両や歩行者の安全確保と利便性が向上された状態	各種団体と連携し道路ネットワークの構築が図られた状態	通行車両や歩行者の安全確保と利便性が向上しました。
活動指標	各種負担金支払団体数	2 団体	2 団体
	事業費（千円）	256	110
	従事人工	0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、各種団体と連携・協力しながら、本市の社会資本整備の充実を図り、市民生活の利便性の向上を目指します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路橋梁総務費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・01道路橋梁総務費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

道路台帳の整備等、適正な道路管理を行います。

目的

円滑な道路管理を図り、市道敷地の未登記処理業務を実施して、適正な道路管理を行うため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市道敷地の未登記処理業務を実施し、円滑かつ適正な道路管理が確保された状態	未登記処理業務を行い適正な道路管理が確保された状態	未登記処理業務を実施し、円滑かつ適正な道路管理を確保しました。
活動指標	未登記処理件数	2 件	4 件
	事業費（千円）	6,501	5,044
	従事人工	0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、地籍調査や道路河川等の県事業と連携しながら、効率的に未登記処理を進めてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路管理費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・02道路維持費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

老朽化した側溝等、道路施設修繕やひび割れ等の舗装補修作業を実施します。

目的

市道等の社会資本の充実を図り、市民生活の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	道路環境の整備により、地区会等市民満足度が向上した状態	道路補修を行い安全性が確保された状態	道路環境の整備により、地区会等市民満足度の向上を図りました。
活動指標	道路施設補修箇所数	65 箇所	69 箇所
	舗装補修等地区数	30 地区	41 地区
事業費（千円）		35,720	35,102
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

道路施設修繕については、道路パトロールや市民から情報提供を受け、迅速に対応を実施しました。
舗装補修については、直営補修と委託補修に役割分担を明確にして、要望箇所を迅速かつ効率的な補修を実施しました。

目標の実現に向けた今後の取組

道路施設は経年劣化による損傷やひび割れ等の老朽化が著しく増加傾向であり、道路パトロールや地区会等の情報提供による道路損傷に対し、迅速かつ効率的な修繕等を実施します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	除雪対策費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・02道路維持費
施策	4-8-1 道路環境の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

冬季の市民生活と交通基盤の確保を行うために市道、歩道、生活道路、公共施設等の除雪作業を実施します。

目的

冬季の道路交通の確保及び公共機関の除雪作業等を円滑かつ適正に行うことにより、雪害から市民生活を守るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	冬季交通基盤の確保等により市民生活が向上した状態	除雪を行い道路交通が確保された状態	冬季交通基盤の確保により市民生活が向上しました。
活動指標	除雪延長	327 km	327 km
	除雪機械台数	80 台	80 台
事業費（千円）		177,089	167,484
従事人工		0.8	0.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

通学路指定道路の優先除雪を徹底するとともに、除雪費計算システムを検証し、引き続き路線組換等による除雪作業の効率化を促進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	地域のみちづくりサポート事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・02道路維持費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 市民との協働による基盤整備と魅力的な景観づくりの推進	

事業概要

市民自らの発意により道路整備を行おうとする地域の団体に対し、道路資材（舗装、砕石、側溝等）及び機械の提供による支援を行うことにより、地域の生活環境整備を早期に行い、市民と行政による協働のまちづくりを行います。

目的

市民と行政による協働のまちづくりに資するため、市民自らの発意による道路整備を行うため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	道路環境の整備により、地区会等市民満足度が向上した状態	道路整備を行い利便性の向上が図られた状態	事業申請11地区に対し11地区を採択して事業を実施しました。
活動指標	事業申請地区数	16 地区	11 地区
	採択地区数	13 地区	11 地区
事業費（千円）		9,000	8,997
従事人工		0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

例年からの地区要望に対し、規模の大きい箇所は事前に市道路事業にて早急に取り組むこととしました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、事業制度の周知を行い、活用を推進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	交通安全施設整備事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

地区会からの要望等に基づき、区画線（路面標示）、道路照明灯、カーブミラー、ガードレール設置等道路の交通安全施設整備を行います。

目的

交通事故を未然に防ぎ、安全な交通環境を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	交通安全施設の整備により歩行者の安全確保、車両の円滑な通行環境が確保された状態	交通安全施設整備を行い安全性が確保された状態	歩行者の安全確保、車両の円滑な通行環境を確保しました。
活動指標	施設整備工事対象地区数	25 地区	19 地区
	事業費（千円）	8,000	7,897
	従事人工	0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

積極的に安全対策を実施する範囲を重点的に絞ったことで、地区数が減少しています。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、通学路点検や地区会要望による交通安全対策箇所について、積極的に整備を実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	市単独道路整備事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

市民生活に密着する生活道路について、緊急性や重要性に基づき、道路改良工事や側溝設置工事等を実施します。

目的

市道の側溝整備、舗装新設・改良等の整備を行い、生活道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	道路環境の整備により、地区会等市民満足度が向上した状態	道路整備を行い道路環境が向上した状態	道路環境の整備により、地区会等の市民満足度が向上しました。
活動指標	側溝改良工事、舗装改良工事ほか整備率	86.8 %	86.8 %
	事業費（千円）	210,274	201,486
	従事人工	1.7	1.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

道路施設の老朽化に伴い、地区会等からの整備要望が多く、整備計画との調整を図りながら計画的に実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	県道路整備事業負担金	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

県の道路整備事業（主要地方道、県道ほか）の促進を図ります。

目的

市民生活の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	道路環境の整備により、地区会等市民満足度が向上した状態	県道整備の推進を図り利便性が向上した状態	道路環境の整備により、地区会等市民満足度が向上しました。
活動指標	道路改良、側溝整備等箇所数	4 箇所	6 箇所
	事業費（千円）	11,000	10,278
	従事人工	0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

これまでの市要望に対し、側溝整備箇所を積極的に整備したため箇所数が増加しております。

目標の実現に向けた今後の取組

県道路事業について、地元地区会と連携しながら道路環境の向上のため、整備促進を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・04社会資本整備総合交付金事業費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

舗装改良工事（六角沼田境線ほか）や橋梁補修工事（原ノ橋ほか）などを行います。

目的

地域の振興や地域住民の安全で快適な暮らしを支え、道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	通行車両や歩行者の安全確保と市道利便性が向上された状態	橋梁補修7橋、舗装補修3路線を実施した状態	橋梁補修5橋、舗装補修2路線を実施しました。
活動指標	橋梁補修工事 補修整備率	22 %	17.9 %
	舗装補修工事 補修整備率	23 %	11.3 %
事業費（千円）		420,355	61,555
従事人工		1.8	1.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

橋梁補修及び舗装補修について、国補正の追加交付決定を年度末に受けたため、適正な工事期間で実施するために翌年度へ繰越を行ったものです。

目標の実現に向けた今後の取組

事業の必要性や交付金事業の配分率向上について、引き続き国及び県へ強く要望等を実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08土木費・02道路橋梁費・04社会資本整備総合交付金事業費
施策	4-8-1 道路環境の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

舗装改良工事（六角沼田境線）や橋梁補修工事（原ノ橋ほか）などを行います。

目的

地域の振興や地域住民の安全で快適な暮らしを支え、道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	通行車両や歩行者の安全確保と市道利便性が向上された状態	橋梁補修4橋、舗装補修1路線を実施した状態	橋梁補修4橋、舗装補修1路線を実施しました。
活動指標	舗装補修工事 補修整備率	23 %	1.2 %
事業費（千円）		47,000	46,903
従事人工		1.8	1.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	単独土木施設災害復旧事業費	予算科目	01一般会計・11災害復旧費・02土木施設災害復旧費・01単独土木施設災害復旧費
施策	4-8-1 道路環境の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

公共土木施設災害復旧事業の採択基準に該当しない道路・河川等土木施設の災害復旧事業を行います。

目的

被災した道路、河川等の土木施設を復旧し、市民の生命と財産を守るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	被災した土木施設等について、迅速に現状復旧された状態	迅速に復旧作業を行い市民生活の安全が確保された状態	被災した土木施設等を迅速に現状復旧しました。
活動指標	工事復旧率	100 %	100 %
	事業費（千円）	20,841	15,323
	従事人工	0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

災害発生時は公共土木施設災害復旧事業の採択の可否を判断し、迅速な現状復旧を行ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	公共土木施設災害復旧事業費	予算科目	01一般会計・11災害復旧費・02土木施設災害復旧費・02公共土木施設災害復旧費
施策	4-8-1 道路環境の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

公共土木施設災害復旧事業（国庫負担金）として道路・河川等土木施設の災害復旧事業を行います。

目的

被災した道路、河川等の土木施設を復旧し、市民の生命と財産を守るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	被災した土木施設等について、迅速に現状復旧された状態	迅速に復旧作業を行い市民生活の安全が確保された状態	公共土木施設災害復旧事業による復旧工事はありませんでした。
活動指標	工事復旧率	100 %	0 %
事業費（千円）		15,200	0
従事人工		0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

公共土木施設災害復旧事業による復旧工事がなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

災害発生時は公共土木施設災害復旧事業の採択の可否を判断し、迅速な現状復旧を行ってまいります。

所属

建設課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-9 利用しやすく安全な都市施設を整備します

施策

4-9-1 利用しやすい都市施設の整備

創生総合戦略 該当なし

目的

1 公園施設の安全維持、駅前広場整備を行うとともに、新たな公園のあり方等について調査研究を進めます。

目標

1 都市施設の維持管理・整備の推進

今後の公園施設の老朽化に対する安全対策の強化及び維持修繕や更新に係る費用の縮減と平準化を目指し、地元団体と協力しながら管理する等、効果的な維持管理・改修を行います。あわせて駅前広場の整備を推進するとともに、新たな公園のあり方等についての調査研究を進めます。

実績

1 都市施設の維持管理・整備の推進

(1) 公園施設長寿命化計画に基づき、月岡公園（照明灯）、みずき公園（園路舗装）、かえで公園（テーブルベンチ）を更新しました。また、地区会等と協力しながら公園の維持管理に努めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	公園の満足度	33 %	20 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

公園施設長寿命化計画に基づき、快適で安全・安心な公園施設が提供できるよう計画的に更新等を実施しているが、大規模な更新や新設が少ないことが要因のひとつと考えます。

目標の実現に向けた今後の取組

通常管理や委託による点検業務のほか、地区会等と連携した危険・修繕箇所の確認や公園に対する市民ニーズの把握に努めながら、様々な制度を活用し公園施設の更新・修繕を行うほか、公園の活性化や魅力向上に向けた検討を行ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	公園管理費	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・02公園費
施策	4-9-1 利用しやすい都市施設の整備		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

市民のレクリエーション・コミュニティの場、人々の心を和ます場である公園の適正な維持管理を行います。

目的

公園（29公園）を適正に維持管理し、公園利用者に快適で安全・安心な場を継続的に提供するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	安全・安心に利用できる状態	公園内での事故0を達成している状態	公園内での事故0を達成しました。また、遊具の点検や剪定、草刈り等を行うとともに、地区会等と協力しながら公園の維持管理に努めました。
活動指標	日常点検日数	243 日	243 日
事業費（千円）		5,037	4,562
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

通常管理や委託による点検業務のほか、地区会等と連携協力のもと、危険箇所や修繕箇所の把握に努め、改善を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	公園施設長寿命化事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・02公園費
施策	4-9-1 利用しやすい都市施設の整備		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

公園施設の老朽化に対する安全対策の強化、ライフサイクルコストの縮減及び費用の平準化を図りながら、効果的な維持管理・改修を行います。

目的

「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に公園施設の整備を更新し、公園利用者に快適で安全・安心な場を継続的に提供するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	公園施設の長寿命化が図られた状態	計画的に施設等が更新された状態	公園施設長寿命化計画に基づき、月岡公園（照明灯）、みずき公園（園路舗装）、かえで公園（テーブルベンチ）を更新しました。また、地区会等と協力しながら公園の維持管理に努めました。
活動指標	更新施設数	4 基	4 基
	事業費（千円）	13,237	13,097
	従事人工	1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

快適で安全な公園を提供するため、地区会等との連携のもと、危険箇所や修繕箇所、ニーズの把握に努めながら、様々な制度を活用し公園施設の更新、修繕を図ります。

所属 **建設課** 振興計画 **第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-10 安全で快適な住宅環境の整備を促進します** 施策 **4-10-1 安全な住宅環境づくりへの支援**

創生総合戦略 **2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり 都市部からの移住・交流の推進 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進**

目的

1 空家等の対策及び安全・安心な居住環境の整備を推進します。

目標

1 空家等の対策及び安全安心な居住環境の推進

空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、「空家等の未然防止」、「空家等の適切な管理の促進」、「空家等の利活用の促進」、「緊急時の対応と特定空家等に対する適切な対応」を基本方針とした空家等対策計画に基づき、各課緊密に連携し対策を推進します。また、土砂災害のおそれのある家屋の移転を支援して、安全・安心な居住環境の維持、向上を図ります。

実績

1 空家等の対策及び安全安心な居住環境の推進

- (1) 空き家バンク契約成立件数 12件
- (2) その他空き家活用 1件（飲食店）
- (3) 危険空家解体事業補助金実績 7件

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	空家等の利活用件数	15 件	13 件

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

移住や開業の相談はありましたが、空き家の所有者と購入希望者のマッチングに至らなかったケースがあったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、NPO法人及び宅建協会等と連携し周知活動を行うとともに、空き家の所有者と購入希望者のマッチングに努めます。また、空き家の活用事例の発信を積極的に行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	地域おこし協力隊推進事業費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・06企画費
施策	4-10-1 安全な住宅環境づくりへの支援		創生総合戦略	2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり 都市部からの移住・交流の推進	

事業概要

空家等対策計画に基づいた事業の推進を図るため、放置されている空き家の解体や管理されている空き家の利活用を推進します。

目的

空き家の除却や利活用を推進することで、市民の安全・安心の確保、住環境の改善及び良好な住環境の改善及び良好な景観を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	周知により、空き家所有者等が相談や補助金申請をできる状態	市民や所有者等に周知されている状態	市民や所有者等に周知しました。
活動指標	市民や所有者等への周知回数	2回	2回
	事業費（千円）	4,784	3,838
	従事人工	0.5	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報や市HP等をの活用により市民や所有者等へ周知しつつ、空き家の除却や利活用の推進を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	住宅・建築物安全ストック事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4-10-1 安全な住宅環境づくりへの支援		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

市民の居住用の住宅について、木造住宅耐震診断士の派遣及び診断料の一部支援を行います。

目的

市民の居住用の住宅について、地震に対する安全な居住環境の維持・向上を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	地震に対する安全性の確保及び向上がなされた状態	建築物の耐震性が確認された状態	市報等により、木造住宅の耐震診断に対し、診断料の一部を支援する制度を周知しました。
活動指標	耐震診断士派遣数	5 人	1 人
	事業費（千円）	700	142
	従事人工	0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

周知を行いましたが、住宅の耐震化に対する重要性の認識や意識の向上に至らず、耐震診断の件数が伸びませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報、ホームページ等を通じて市民に制度を周知し、意識の向上と制度利用を促していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	空家等対策事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4-10-1 安全な住宅環境づくりへの支援			創生総合戦略	3かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進（第2期創生総合戦略）

事業概要

空家等対策計画に基づいた事業の推進を図るため、空家等を解体する所有者等に対し、費用の一部を補助します。また、空家等家財類の処分費の一部を補助します。

目的

空家等対策計画に基づき、危険空家解体に対する補助を行うことで、危険な空き家を除却し、市民の安全・安心を確保、住環境の改善及び良好な景観を図ると共に、空き家の有効活用を促進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	周知により、危険な空き家の所有者等が相談又は申請できる状態	市民や所有者等に周知されている状態	市民や所有者等に周知した結果7件が補助対象となりました。
活動指標	市民や所有者等への周知回数	2回	2回
事業費（千円）		19,991	18,232
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、周知活動を行い、利用促進に取り組めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	空家等対策事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4-10-1 安全な住宅環境づくりへの支援		創生総合戦略	3かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進（第2期創生総合戦略）	

事業概要

空家等対策計画に基づいた事業の推進を図るため、空家等を解体する所有者等に対し、費用の一部を補助します。また、空家等家財類の処分費の一部を補助します。

目的

空家等対策計画に基づき、危険空家解体に対する補助を行うことで、危険な空き家を除却し、市民の安全・安心を確保、住環境の改善及び良好な景観を図ると共に、空き家の有効活用を促進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	周知により、危険な空き家の所有者等が相談又は申請できる状態	市民や所有者等に周知されている状態	特定空家である旧工場が解体されました。
活動指標	市民や所有者等への周知回数	2回	2回
事業費（千円）		55,600	55,600
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

建設課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-10 安全で快適な住宅環境の整備を促進します

施策

4-10-2 快適な住宅環境の整備

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 若者の定住推進

目的

2 定住促進と住宅の品質の向上を目指します。また、上山市公共施設等総合管理計画（上山市営住宅長寿命化計画）に基づき、市営住宅の移転等を検討します。

目標

1 定住促進と住宅の品質の向上

民間宅地開発による優良な宅地の供給を促進しながら、本市に転入する若者や子育て世帯等の定住を図ります。また、空き家及び既存住宅の品質や性能向上を促進しながら、快適な住環境につなげます。

2 市営住宅ストックの有効活用

上山市公共施設等総合管理計画（上山市営住宅長寿命化計画）に基づき、金生住宅（2階建住棟）及び美咲町住宅については老朽化が著しいことから建替えは行わず、市中心部の民間の空き家を活用した手法等を検討してまいります。金生住宅（4階建住棟）については、入居希望者のニーズを踏まえ、居住スペースの改善や居住水準の向上を図りながら、入居率向上につなげます。

実績

1 定住促進と住宅の品質の向上

(1) 持家住宅建設等補助金は29件の申請があり、9,680千円の補助金を交付しました。内訳は、市外から転入が13件で4,000千円、市内在住者の申請が16件で5,680千円でした。子育て世帯からの申請は18件ありました。

2 市営住宅ストックの有効活用

(1) 市営金生住宅（4階建て）の空室1戸の住戸改善を行いました。また、美咲町住宅の2号棟、8号棟及び集会所を解体しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	戸建て住宅着工戸数	89 件	47 件
	共同住宅・長屋着工戸数	45 戸	58 戸
	市営住宅入居率	92 %	94 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

住宅着工戸数は、市内でのまとまった宅地供給がないこと等により減少しています。また、市営住宅入居率は住戸改善工事の効果により、目標を超える値が維持されています。

目標の実現に向けた今後の取組

持家住宅建設等補助金については、新築予定者等へ市報やホームページなどによる周知を行い、引き続き子育て世帯の移住・定住を促進します。また、市営住宅長寿命化計画に基づき、空き室の住戸改善を行い入居者を募集します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	定住促進事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4-10-2 快適な住宅環境の整備		創生総合戦略	3かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 若者の定住推進（第2期創生総合戦略）	

事業概要

本市に居住している子育て世帯又は新たに本市に転入する者で、居住するために住宅を建設する者または空き家バンク登録物件等中古住宅を取得する者が補助条件に合致する場合に補助金を交付します。また、若者世帯の居住環境を向上するため、共同住宅を建設する事業者に対し、補助金を交付します。

目的

住宅建設の促進、若年層の流出防止及び市外からの転入者の増加を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民等に周知され、該当者が相談または申請できる状態	市民等に周知されている状態	市報やSNS等にて周知を行い、持家建設等補助金29件の申請を受けました。
活動指標	市民等への周知回数	2回	2回
事業費（千円）		12,000	9,680
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報やHP等により周知を行い、子育て世帯や若者の移住・定住促進を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	定住促進事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4-10-2 快適な住宅環境の整備		創生総合戦略	3かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 若者の定住推進（第2期創生総合戦略）	

事業概要

本市に居住している子育て世帯又は新たに本市に転入する者で、居住するために住宅を建設する者または空き家バンク登録物件等中古住宅を取得する者が補助条件に合致する場合に補助金を交付します。また、若者世帯の居住環境を向上するため、共同住宅を建設する事業者に対し、補助金を交付します。

目的

住宅建設の促進、若年層の流出防止及び市外からの転入者の増加を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民等に周知され、該当者が相談または申請できる状態	市民等に周知されている状態	市報等により周知し、若者向け共同住宅建設促進事業補助金の申請を受けました。
活動指標	市民等への周知回数	2回	2回
	事業費（千円）	10,000	5,100
	従事人工	0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	住宅リフォーム支援事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4-10-2 快適な住宅環境の整備		創生総合戦略	3かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進	

事業概要

市内業者の施工により、自ら居住する住宅の部分補強・省エネ・バリアフリー等のリフォームを行う者に対し、補助金を交付します。

目的

既存住宅の住環境の質の向上及び住宅投資の波及効果による地域経済の活性化を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民等に周知され、該当者が相談または申請できる状態	市民等に周知されている状態	市報等により周知し、179件の補助を行いました。
活動指標	市民等への周知回数	2回	2回
事業費（千円）		23,050	22,235
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報、ホームページ等を通じて制度を周知し、利用促進に取り組みます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	市営住宅長寿命化事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・01住宅管理費
施策	4-10-2 快適な住環境の整備		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

金生住宅4階建住棟の各住戸において、居住スペースの改善や居住水準向上のための改修を行います。また、美咲町住宅の空き住棟を解体します。

目的

金生住宅4階建住棟について、入居希望者のニーズを踏まえた住戸改善を行い、入居率の向上を図るため。 美咲町住宅の空き住棟を解体し、住民の安全を確保するとともに周辺環境の悪化を防ぐため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	住戸改善が実施され、入居率が向上した状態	住戸改善が実施され、入居率が向上した状態	市営金生住宅（4階建て）の空室1戸を住戸改善し、美咲町住宅の2号棟、8号棟及び集会所を用途廃止のうえ解体しました。
活動指標	住戸改善戸数	1戸	1戸
	金生住宅4階建住棟の入居率	100%	94%
事業費（千円）		31,350	30,292
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

年度後半に退去があり、入居率が前年度より低下しています。

目標の実現に向けた今後の取組

市営長寿命化計画に基づき、空室となっている住戸を改善し、新規入居者又は移転を促すことで入居率を高めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	市営住宅管理費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・01住宅管理費
施策	4-10-2 快適な住宅環境の整備		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

修繕等による維持管理業務、使用料の賦課や徴収業務・入退去業務を行います。

目的

市営住宅の適正な維持管理のため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市営住宅の適正管理を行うとともに、修繕等により入居者の安全や安心が確保された状態	適正に管理された状態	市営住宅管理システムを活用した入退去及び収納管理等のほか、建物の不具合箇所を修繕するなど適正な維持管理に努めました。
活動指標	過年度分使用料未納額の減少	1,700 千円	1,356 千円
	事業費（千円）	5,201	4,479
	従事人工	1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

滞納者と定期的に連絡を取り、納付計画に基づいた納付を促しました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、納付計画に基づく未納額の回収に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	セーフティネット住宅供給促進事業費	予算科目	01一般会計・08土木費・05住宅費・01住宅管理費
施策	4-10-2 快適な住宅環境の整備		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

美咲町住宅及び金生住宅1～9号棟に入居する者の住み替え先として、セーフティネット住宅の登録を受けた民間賃貸住宅を供給するため、賃貸人（大家）に対して家賃低廉化に要する費用について補助を行います。

目的

美咲町住宅及び金生住宅1～9号棟は耐用年数を超過し老朽化が著しく、現行の耐震基準を満たさないことから、セーフティネット住宅の登録を受けた民間賃貸住宅を供給し、住み替えを促すことで入居者の安全の確保と居住環境の改善を行うため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	セーフティネット住宅が供給され、対象の市営住宅から入居者の住み替えが実施された状態	セーフティネット住宅が供給され、対象の市営住宅から入居者の住み替えが実施された状態	市営住宅入居者に対し、セーフティネット住宅制度の紹介を行い、1戸の住み替えにつながりました。
活動指標	住み替え可能なセーフティネット住宅の供給戸数	2戸	1戸
	対象の市営住宅からの住み替え戸数	2戸	1戸
事業費（千円）		1,940	1,447
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

住み替え希望者の募集を行い、内見等を行った入居者もありましたが、本人の希望との相違から住み替えに至りませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市営住宅入居者にセーフティネット住宅の周知を行い、本人の希望に沿ったうえで住み替えを促していきます。

所属

建設課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-11 暮らしを守る河川環境を保全します

施策

4-11-1 河川環境の保全

創生総合戦略 該当なし

目的

- 1 河川愛護の意識の高揚を図り、河川環境の保全につなげます。

目標

- 1 河川愛護活動団体の増加
河川環境の保全に向けて、河川敷の草刈りや美化活動を行う河川愛護団体の数が増えるようにPR活動を行います。
- 2 河川一斉清掃の継続
広報誌に掲載し、河川一斉清掃の意識の高揚を図り、河川環境の保全に努めます。

実績

- 1 河川愛護活動団体の増加
(1) 県と連携し、河川愛護活動団体の継続申請受付と進達を実施しました。
- 2 河川一斉清掃の継続
(1) 市報掲載や愛護啓発ポスター及びチラシを地区公民館や学校等の関係機関へ配布しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	河川愛護活動団体数	15 団体	16 団体
	河川一斉清掃の参加者数	6,000 人	5,245 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

河川一斉清掃の参加者数については、令和2年度の新型コロナ感染拡大防止に伴う中止以降、市全体的に住民及び中学生の参加が減少しているためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、河川の美化及び愛護のための啓発活動をさらに促進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	河川管理費	予算科目	01一般会計・08土木費・03河川費・01河川総務費
施策	4-11-1 河川環境の保全		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

河川の維持保全、河川改修事業の促進、水辺環境整備の推進、市民主体の河川美化活動等の推進を図ります。

目的

河川における市民の安心・安全を確保し、自然豊かな水辺空間やふれあいと憩いの場を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	河川整備等により、生活環境が改善し、市民満足度が向上した状態	河川美化活動を推進し生活環境が向上した状態	河川整備等により生活環境が改善し、市民満足度が向上しました。
活動指標	河川一斉清掃実施回数	1回	1回
	事業費（千円）	18,953	14,531
	従事人工	0.4	0.4

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

河川愛護活動の啓発と市民の安全・安心を確保するために適正な維持管理を行います。

所属

上下水道課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-12 上下水道の整備を促進します

施策

4-12-1 安全で良質な水の安定供給

創生総合戦略 該当なし

目的

1 水道事業の健全な経営を図りながら、老朽化した水道施設の更新を進め、安全・安心な水の安定供給を確保します。

目標

1 水道施設の適正管理

漏水管や老朽管の計画的な更新及び各配水池、ポンプ場等の機器の更新等を行い、給水障害が生じないよう維持管理を徹底します。

実績

1 水道施設の適正管理

(1) 計画的に老朽管の更新や基幹管路の耐震化を進め、施設の定期的な保守点検を行うことで水道施設の適正な管理に努めました。また漏水箇所の早期発見・修理を行うことで管路の維持管理に努めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	上水道有収率	80 %	81 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

複数年契約の有収率向上対策業務委託による調査・対策により有収率を維持向上させるとともに、計画的な管路更新を進めることで水道施設の適正な管理に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	小規模水道施設管理費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	4-12-1 安全で良質な水の安定供給			創生総合戦略	該当なし

事業概要

古屋敷、上ノ原、蔵王、蔵王坊平の各小規模水道施設の維持管理を実施し、安全安心な水を供給します。

目的

小規模水道区域において安全で良質な飲料水の安定供給を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	小規模水道区域の利用者が安心して安定的に水道を使用できる状態	飲料水が安定供給されている状態	飲料水が安定供給されました。
活動指標	事故回数	0回	0回
事業費（千円）		25,004	24,644
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も小規模水道区域に安全で良質な飲料水を提供できるよう、施設の維持管理を行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	4-12-1 安全で良質な水の安定供給		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

一般会計から水道事業会計への負担を行います。

目的

水道事業会計の安定的経営のため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適正な負担が行われている状態	適正な負担が行われた状態	適正に負担が行われました。
活動指標	負担金	19,103 千円	19,103 千円
事業費（千円）		19,103	19,103
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	水道事業子育て世帯補助金（水道事業会計）	予算科目	水道事業会計（収益的支出）・01水道事業費用・01営業費用・04総係費
施策	4-12-1 安全で良質な水の安定供給		創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進	

事業概要

持家住宅建設等補助金を利用し、同居する中学生以下の子どもを養育している方に対し、最長60月水道料金の2分の1相当額を補助します。

目的

子育て世代の移住者の受け入れ環境を強化するとともに、市外転出者の減少を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	子育て世帯が増加した状態	子育て世帯が増加している状態	子育て世帯が増加しました。
活動指標	補助件数	270 件	253 件
事業費（千円）		7,128	6,158
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き補助金について周知を図ります。

所属

上下水道課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-12 上下水道の整備を促進します

施策

4-12-2 下水道の普及促進と適正管理

創生総合戦略 該当なし

目的

2 公共下水道・浄化槽の普及促進、適正管理と健全経営に努めます。

目標

1 水洗化の推進

上山市生活排水処理基本計画に基づく事業の推進と排水設備工事への助成制度等により水洗化を推進します。

実績

1 水洗化の推進

(1) 上山市生活排水処理基本計画に基づき事業を推進するとともに、排水設備工事への助成を行い水洗化を推進しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	公共下水道水洗化率	92.4 %	93.2 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

下水道への接続人口を増やすため、新たに下水道管路を整備した区域についてや、説明会や訪問等の実施により、また供用開始から数年が経過している地区に対しては文書配布等により、下水道接続への理解を深め、公共下水道水洗化率の向上に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	浄化槽設置整備事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-12-2 下水道の普及促進と適正管理		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

市民皆水洗化を目指し、公共下水道、農業集落排水区域以外の地区において、合併処理浄化槽の整備促進を図るため補助金を交付します。

目的

生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	合併処理浄化槽設置を推進する状態	補助金交付事業により整備推進をしている状態	市報等により補助金制度について周知を図りながら、補助金交付事業の活用によって合併処理浄化槽の設置を促進しました。
活動指標	補助金交付対象整備基数	10 基	10 基
	事業費（千円）	9,957	9,746
	従事人工	0.7	0.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため、さらなる合併浄化槽整備を促進してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	浄化槽事業特別会計繰出金	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・04環境衛生費
施策	4-12-2 下水道の普及促進と適正管理		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

一般会計から浄化槽事業特別会計へ繰出金を支出します。

目的

浄化槽事業の健全な経営を行うため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	健全経営のため適正に繰出金が支出されている状態	適正に繰出金が支出されている状態	適正に負担が行われました。
活動指標	繰出金	9,600 千円	9,600 千円
事業費（千円）		9,600	9,600
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	予算科目	01一般会計・06農林水産業費・01農業費・06農村整備費
施策	4-12-2 下水道の普及促進と適正管理		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

農業集落排水事業に繰出金を支出します。

目的

農業集落排水事業の適正な運用維持のために繰出金を支出するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	農業集落排水事業会計の健全経営が推進されている状態	健全経営が推進されている状態	適正に負担が行われました。
活動指標	基準外繰出金	17,537 千円	30,373 千円
事業費（千円）		86,810	86,810
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

基準内繰出対象経費である汚水関連の工事費の減により、対象外が増加しました。

目標の実現に向けた今後の取組

適切な繰出金の繰り出しに努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	下水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-12-2 下水道の普及促進と適正管理 4-12-3 浸水被害の解消		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

一般会計から下水道事業会計へ負担金を支出します。

目的

下水道事業の健全な経営を行うため

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	健全経営のため適正に負担金が支出されている状態	適正に負担金が支出されている状態	適正に負担が行われました。
活動指標	負担金	352,511 千円	352,511 千円
事業費（千円）		352,511	352,511
従事人工		3	3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	下水道事業子育て世帯補助金（下水道事業会計）	予算科目	下水道事業会計（収益的支出）・01下水道事業費用・01営業費用・04総係費
施策	4-12-2 下水道の普及促進と適正管理		創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 若い世代の住環境づくり 子育て世帯の定住推進	

事業概要

持家住宅建設等補助金を利用し、同居する中学生以下の子どもを養育している方に対し、最長60月下水道使用料金の2分の1相当額を補助します。

目的

子育て世代の移住者の受け入れ環境を強化するとともに、市外転出者の減少を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	子育て世帯が増加した状態	子育て世帯が増加している状態	子育て世帯が増加しました。
活動指標	補助件数	233 件	243 件
事業費（千円）		4,819	4,664
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、補助金について周知を図ります。

所属

上下水道課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-12 上下水道の整備を促進します

施策

4-12-3 浸水被害の解消

創生総合戦略 該当なし

目的

3 集中豪雨等による浸水被害の防止を行います。

目標

1 公共下水道事業浸水対策

集中豪雨等による浸水被害を防止するため、公共下水道事業計画に基づき雨水排水路等の整備を促進し、安全な市民生活の対策に努めます。

実績

1 公共下水道事業浸水対策

(1) 集中豪雨による浸水被害を防止するため、公共下水道事業計画に基づき雨水排水路等の整備を実施しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	浸水被害件数	0 件	0 件

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

浸水対策工事については、引き続き工事を実施していきます。浸水対策事業の主な財源は、防災安全交付金であるため、事業費の確保について要望を行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	下水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・08土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-12-2 下水道の普及促進と適正管理 4-12-3 浸水被害の解消		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

一般会計から下水道事業会計へ負担金を支出します。

目的

下水道事業の健全な経営を行うため

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	健全経営のため適正に負担金が支出されている状態	適正に負担金が支出されている状態	適正に負担が行われました。
活動指標	負担金	352,511 千円	352,511 千円
	事業費（千円）	352,511	352,511
	従事人工	3	3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

市政戦略課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-13 市政に情報通信技術を活かします

施策

4-13-1 ICTを活用した行政サービスの充
実

創生総合戦略

該当なし

目的

1 ICTを活用した公共サービスや市政業務のデジタル化について調査・研究し、行政サービスの利便性の向上と効率化に努めるとともに、セキュリティ対策の充実や公共施設におけるWi-Fi環境の方針等についても検討します。

目標

1 利活用しやすい行政サービスの提供

市が保有する情報をオープンデータとしてインターネット上に公開することで、行政活動の透明性を高め、社会に対し広くデジタルデータの利活用を推進するとともに、公共施設におけるWi-Fi環境のあり方について検討するなど、利便性の向上を図ります。また、マイナンバー制度によるワンストップ申請等、行政サービスのスマート化と関連業務のデジタル化に取り組みます。あわせて、電子申請を安全・安心に利用していただくため情報セキュリティ対策やマイナンバー制度事務の質の向上に努めます。

実績

1 利活用しやすい行政サービスの提供

(1) 電子申請等のデジタル行政サービスの基盤となるマイナンバーカードの取得を推進するため、国のマイナポイント事業に合わせたポイント申請支援等を行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	電子申請の申請件数	55 件	791 件

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

令和4年2月から開始した、マイナポータルでの転入転出に係る電子申請が定着したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

マイナポータルで行うことができる電子申請手続の拡大や書かない窓口の導入など、マイナンバーカードを利用することができる機会の創出を進めてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	光ケーブル管理費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・07情報管理費
施策	4-13-1 ICTを活用した行政サービスの充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

山元地区に敷設した光ケーブルの維持管理を行います。

目的

安定した高速インターネットや光電話のサービス提供を可能にし、インターネットの普及拡大を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	敷設光ケーブルによるインターネット通信が維持されている状態	光ケーブルが適切に維持管理されている状態	光ケーブルの適正な維持管理を行いました。
活動指標	光ケーブルによりインターネット環境へ接続できる山元地区世帯数の割合	100 %	100 %
事業費（千円）		4,160	3,679
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も適正な管理に努め、高速通信を利用可能な状態を維持してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	コンピュータシステム運用費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・07情報管理費
施策	4-13-1 ICTを活用した行政サービスの充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

基幹システムの運用を始めとする業務委託、システムの構築、修繕、各種機器の賃借料及びソフトウェア等の更新手数料等に係る費用を措置します。また、情報セキュリティ対策に係るサーバを運用し、ネットワーク内の適切な資産管理を行います。その他、テレワークやWeb会議等、ICTを活用して職員の業務環境を整備します。

目的

市民サービスや職員の事務遂行に支障をきたすシステム障害を防止し、情報システムのセキュリティ及び機能の向上を図るため。県内全市町村が接続する山形県・市町村情報セキュリティクラウドの運用に係る予算措置を行い、市民サービス向上を目指すシステムの構築と安定稼働を実現するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民サービスに支障をきたしていない状態	支障をきたすことなくサービスの提供が行える状態	情報システム運用に支障をきたすことなく、行政サービスを提供しました。
活動指標	情報システムの障害件数	0件	0件
事業費（千円）		140,828	126,913
従事人工		2.9	2.9

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

安定した行政サービスを継続して提供することができるように、情報システムの運用及び関連機器の管理を適切に実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	戸籍住民基本台帳事務費	予算科目	01一般会計・02総務費・03戸籍住民基本台帳費・01戸籍住民基本台帳費
施策	6-2-1 効率的な行政運営の推進 4-13-1 ICTを活用した行政サービスの充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

戸籍住民基本台帳の正確な記録とシステムの維持管理及び謄抄本・諸証明書の交付を行います。また、住基ネットワークシステムの適正な運用と個人番号カードの交付を推進します。

目的

戸籍・住民基本台帳の高度な公証性を担保し、正確かつ迅速な事務処理を実施することにより、行政運営の基礎資料として、また、経済活動の必須資料としての有用性を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	年間を通して窓口対応への苦情が無い状況	繁忙期においても誤交付がほぼ無い状態	証明書作成についての課内研修を行うとともに、複数での確認を徹底することで誤交付の減少に努めました。
活動指標	交付誤りによる苦情件数	3 件	1 件
事業費（千円）		52,278	38,871
従事人工		6	6

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

書かない窓口導入により市民負担の軽減を図るとともに、受付時の確認項目を明確化することで正確な事務処理を実施します。

所属

庶務課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-14 防災・減災体制を強化します

施策

4-14-1 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化

目的

1 地域の防災・減災力を高めるため、自主防災組織の活性化を図りながら、防災・減災に関するソフト対策の充実を図り、住民が防災・減災に関する正しい知識を持ち、安全で住みやすい、災害に強いまちづくりを目指します。

目標

1 地域の防災・減災力強化

防災・減災に関する出前講座や地域防災力の強化支援、市総合防災訓練の実施、防災・減災情報の提供等、ソフト対策の充実を図り、地域の防災・減災力を強化します。また、活動していない自主防災組織へ訓練の実施を促すとともに、防災・減災に関する地域の問題点や対応策等の情報を共有し、地域住民の共助の意識を高めます。

実績

1 地域の防災・減災力強化

(1) 自主防災組織等への出前講座を開催し、市民の防災意識の向上に努めました。また、消防本部と連携を図り、自主防災組織等による各種訓練や防災資器材の整備支援を通して地域の防災力の強化に努めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	自主防災組織等が行う防災・減災講座の実施件数	13 件	13 件

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

自主防災組織等への出前講座や各種訓練を通して地域の防災力を高め、地域と連携を図りながら災害に強い地域づくりを推進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	庶務課	事業	防災対策推進費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4-14-1 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化 4-14-2 共助による避難支援体制の構築		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化	

事業概要

災害時対応のために、防災訓練の実施等による防災・減災体制の強化及び災害時備蓄品等の整備を行います。また、携帯通信網を利用した職員間の情報共有のため、タブレット端末を配備し、災害時における情報の収集及び発信の円滑化を進め、大会議室にスクリーンを設置し、災害対策会議に活用します。

目的

日頃からの活動による住民の防災・減災への理解と意識の高揚を図り、物資等の整備を進めることで市民の生命・財産、及び安心・安全を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	防災・減災への理解と意識の高揚を図り、有事における避難所への迅速な避難誘導と、防災用備蓄品等を整備し市民の安全・安心感を高めている状態	全戸配布した防災ファイルにより、市民の防災・減災への関心を高めている状態	防災ファイルを全戸に配布することを通して、市民の防災・減災に対する関心を高めました
活動指標	防災ファイルの配備率	100 %	100 %
事業費（千円）		16,316	15,026
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

防災ファイルを通して本市のハザード情報の周知広報を図り、防災・減災への理解と災害に強い地域づくりに向けた意識の高揚を図ります。

所属

庶務課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-14 防災・減災体制を強化します

施策

4-14-2 共助による避難支援体制の構築

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化

目的

2 災害発生時に、自力で避難できない避難行動要支援者の登録を進め、自主防災組織、行政、消防団等が情報を共有しながら助け合いによる避難体制を構築します。

目標

1 避難行動要支援者登録の推進
災害時に自力で避難できない避難行動要支援者を自主防災組織の活動で把握し登録することにより、共助による避難体制を構築します。

実績

1 避難行動要支援者登録の推進
(1) 避難行動要支援者制度について、自主防災組織連絡協議会の総会や各地区での出前講座等で周知広報を図り、登録を促しました。

	区分	令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	避難行動要支援者新規登録者数	20人	35人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

避難行動要支援者制度の周知広報を通して自主防災組織や民生委員・児童委員の制度に対する理解が深まり、登録者数の増加に結び付いていると考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

自ら避難することが困難な方が迅速かつ適切に避難できるように避難行動要支援者制度の周知広報を継続し、地域と連携を図りながら共助体制の構築に努めてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	庶務課	事業	防災対策推進費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4-14-1 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化 4-14-2 共助による避難支援体制の構築		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 自然災害に対する防災・減災体制の強化と自主防災組織の活性化	

事業概要

災害時対応のために、防災訓練の実施等による防災・減災体制の強化及び災害時備蓄品等の整備を行います。また、携帯通信網を利用した職員間の情報共有のため、タブレット端末を配備し、災害時における情報の収集及び発信の円滑化を進め、大会議室にスクリーンを設置し、災害対策会議に活用します。

目的

日頃からの活動による住民の防災・減災への理解と意識の高揚を図り、物資等の整備を進めることで市民の生命・財産、及び安心・安全を確保するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	防災・減災への理解と意識の高揚を図り、有事における避難所への迅速な避難誘導と、防災用備蓄品等を整備し市民の安全・安心感を高めている状態	全戸配布した防災ファイルにより、市民の防災・減災への関心を高めている状態	防災ファイルを全戸に配布することを通して、市民の防災・減災に対する関心を高めました
活動指標	防災ファイルの配備率	100 %	100 %
事業費（千円）		16,316	15,026
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

防災ファイルを通して本市のハザード情報の周知広報を図り、防災・減災への理解と災害に強い地域づくりに向けた意識の高揚を図ります。

所属

消防本部（署）

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-15 消防・救急・救助対策を推進します

施策

4-15-1 消防組織・体制及び施設の充実

創生総合戦略 該当なし

目的

1 消防職員の資質向上とともに、消防組織・体制の充実を図り、複雑多様化及び大規模化する災害に対応していきます。また、消防施設等を充実させるとともに、消防水利の整備を促進します。

目標

1 市民への防火思想の推進及び火災予防体制と消防施設等の充実強化

火災による死傷者の低減と被害の軽減を図るため、法令違反のある施設の関係者に改善を促し利用者の安全を確保するとともに、市民への防火広報を推進します。また、複雑多様化する各種災害に迅速かつ的確に対応するため、消防施設、消防車両及び資機材の充実・強化を図るとともに、無蓋防火水槽の有蓋化及び不具合消火栓の修繕等、消防水利の整備強化を図ります。

2 消防・救急・救助隊員の現場対応力強化及び応急手当普及啓発の推進

高度化・専門化する現場活動に対応するため、教育機関への入校及び各種講習会等で知識・技術を習得し、教育訓練の充実を図り現場対応力の強化に努めます。また、心肺停止事案等では、迅速かつ適切な応急手当を施すことで救命率の向上が期待できるため、応急手当普及啓発活動を積極的に実施します。

実績

1 市民への防火思想の推進及び火災予防体制と消防施設等の充実強化

(1) 春及び秋の火災予防運動期間中並びに自主防災会訓練時において、リーフレット等により火災予防広報を行い防火思想の推進を図りました。また、消防車両による火災予防巡回を行い、出火防止に係る注意喚起を行いました。

2 消防・救急・救助隊員の現場対応力強化及び応急手当普及啓発の推進

(1) 教育機関入校やweb研修会で知識・技術の向上を図り、現場対応力強化を図りました。応急手当講習会を実施し、応急手当の重要性を啓蒙しました。アフターコロナになり、前年より応急手当講習会受講者が増加しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	火災件数	9 件	16 件
	搬送心肺停止事案における心肺蘇生実施率	60 %	40 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

火災は春先の乾燥期に多発しており、ごみ焼き等の行為者の防火意識の欠如が原因であると考えます。心肺停止事案は、同居高齢者が第1発見者になることも多く、体力的な面から実施されない場合もあり、心肺蘇生実施率が低下したと思われま

目標の実現に向けた今後の取組

春先の火災が多発する時期に火災予防巡回を強化し、行為者への声掛け等丁寧な指導を行います。搬送心肺停止事案における心肺蘇生実施率は、救命率向上のため重要であることから目標値に近づくよう受講者のニーズに合った応急手当講習会を継続してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	消防総務費	予算科目	01一般会計・09消防費・01消防費・01常備消防費
施策	4-15-1 消防組織・体制及び施設の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

火災をはじめ、複雑多様化及び大規模化する災害に対応するため、職員を教育訓練に派遣し知識・技術の習得を行うとともに、大型免許取得や貸与備品を整備し、消防本部の円滑な運営を図ります。

目的

常備消防の運営管理及び複雑多様化する災害に迅速かつ適切に対応する体制の充実強化を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	消防職員の人材育成を図っている状態	計画どおり教育訓練に派遣された状態	教育訓練に派遣しました。
活動指標	教育訓練派遣職員数	7人	7人
事業費（千円）		23,216	21,320
従事人工		7	7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、消防職員の人材育成を行うとともに、消防組織・体制の充実を図り、複雑多様化及び大規模化する災害に対応してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	防災等活動費	予算科目	01一般会計・09消防費・01消防費・01常備消防費
施策	4-15-1 消防組織・体制及び施設の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

災害用資器材を整備し、消防体制の充実に努めます。

目的

災害時に必要な資器材の整備及び技能を習得し被害を軽減するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	常時災害に対応できる状態	常時災害に対応できる状態	常時災害に対応できる状態としました。
活動指標	水害に備えた資器材購入	—	—
	検知器の校正	2 台	2 台
事業費（千円）		2,791	2,762
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、常時災害に対応できる状態となるよう整備してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	消防施設維持保全費	予算科目	01一般会計・09消防費・01消防費・03消防施設費
施策	4-15-1 消防組織・体制及び施設の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

消防施設や消防車両など消防業務に欠かせない施設や資器材を継続的に維持管理します。

目的

消防施設や資器材の充実及び適正な維持管理を図り、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	あらゆる災害に迅速に対応できる状態	常時災害に対応できる状態	常時災害に対応できる状態としました。
活動指標	車両法定点検実施率	100 %	100 %
事業費（千円）		33,234	32,348
従事人工		3	3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、あらゆる災害に迅速に対応できるよう維持していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	市単独消防施設整備事業費	予算科目	01一般会計・09消防費・01消防費・03消防施設費
施策	4-15-1 消防組織・体制及び施設の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

防火水槽の有蓋化を促進させるとともに、高機能指令センターの更新工事を行います。

目的

消防施設の適正な維持管理を図り、災害時にその施設を利用し被害を軽減するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	消防施設、消防車両を整備し災害に迅速対応できる状態	あらゆる災害に迅速に対応できる 状態	あらゆる災害に迅速に対応できる状態としました。
活動指標	防火水槽の新設及び更新数	3 基	3 基
事業費（千円）		662,561	65,620
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、あらゆる災害に迅速に対応できるようにしていきます。併せて、機動力強化を目的とした消防団車両の配備を推進していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	救急業務費	予算科目	01一般会計・09消防費・01消防費・01常備消防費
施策	4-15-1 消防組織・体制及び施設の充実		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

複雑多様化、高度化する各種災害に対応するため、救急・救助体制の充実強化を図ります。

目的

救急車積載資器材の充実・強化を図り、各種研修会や講習会に参加し、救急・救助隊員の知識・技術を向上させるとともに、市民に対し応急手当の普及啓発活動を行い、救命率を向上させるため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	各種講習会に参加し、救急隊員・救助隊員の知識・技術の向上を図っている状態 応急手当普及啓発活動を行い、救命率の向上を目指している状態	各種研修会、講習会を受講している状態 応急手当講習会を実施している状態	各種研修会、講習会を受講しました。応急手当講習会を実施しました。
活動指標	応急手当講習会受講状況	2,000人/100回	1,333人/69回
	各種研修会、講習会参加状況	20人/8回	9人/5回
事業費（千円）		6,172	5,086
従事人工		8	8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

各種研修会等は、中止となったものが多く、参加者・回数とも目標に至りませんでした。コロナの影響が継続し、応急手当講習会は目標に達しませんでした。前年度より受講者数が増加しました。

目標の実現に向けた今後の取組

救命率向上を最大の目的として、受講者のニーズを捉えて、よりわかりやすく指導法を工夫しながら応急手当講習会を実施してまいります。

所属

消防本部（署）

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-15 消防・救急・救助対策を推進します

施策

4-15-2 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

創生総合戦略 5 連携施策等 協創によるまちづくり 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

目的

2 市民の安全・安心を確保するため、地域防災力の中核的な役割を担う消防団の充実強化を図ります。

目標

1 消防団員の確保と活性化対策等の推進

地域防災力の中核となる消防団の活動内容が増加・多様化する中で、消防団員数は減少し、地域防災力の低下が懸念されることから、消防団の組織体制の検討を行うとともに、市民の消防団活動への理解を深めるため、広報誌等の刊行や消防団協力事業所表示制度及び消防団サポート事業所の推進等積極的な活性化対策を実施し、消防団員の確保に努めます。また、地域の防災・減災の要となる自主防災組織による日頃の訓練等を推進します。

2 消防団員の教育訓練体制及び装備等の充実

地震・豪雨災害等複雑多様化する災害に対応するため、消防団員の活動は不可欠であることから、専門的かつ高度な教育訓練へ派遣し被害の軽減に努めます。また、消防団員は危険な災害現場で活動を行うことから、安全確保のため装備等の充実を図ります。

実績

1 消防団員の確保と活性化対策等の推進

(1) 条例改正により年額・出動報酬を引き上げ、団員の処遇を改善しました。併せて、定数及び管轄地区等の見直しを行い、消防団組織の再編成を図りました。また、消防団広報誌「まもる」の全戸配布、消防団協力事業所表示制度及び消防団サポート事業所の推進を継続し、消防団員の確保に努めました。

2 消防団員の教育訓練体制及び装備等の充実

(1) 県消防学校の実技指導員科（消防操法）に4人、指揮幹部科（分団指揮課程）に1人、指揮幹部科（現場指揮課程）に2人、女性消防団員研修に2人を派遣しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	消防団員定数充足率	95 %	91 %
	教育訓練派遣団員数	10 人	9 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

団員定数充足率は、人口減少や被雇用者の増加等による社会情勢の変化が大きく、条例改正により定数を約24%減じたものの目標には達しませんでした。教育訓練派遣団員数は、都合により消防学校に入校できなかった団員がおり、目標より1人減となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

各分団に出向き若手団員とミーティングを行い意見・要望・悩み等を聴取し、若年者が活動しやすい環境の整備に取り組みながら、入団促進を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	消防団運営費	予算科目	01一般会計・09消防費・01消防費・02非常備消防費
施策	4—15—2 消防団を中核とした地域防災力の充実強化		創生総合戦略	5 連携施策等 協創によるまちづくり 消防団を中核とした地域防災力の充実強化	

事業概要

教育訓練に派遣し、消防団活動に必要な知識・技術を習得します。また、報酬や貸与備品を整備するとともに、消防団員の入団促進及び活性化を図ります。

目的

地震・豪雨災害等消防団活動に必要な知識・技術を習得し、地域防災力の充実強化を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	消防団員の確保と活性化対策の推進及び消防団員の教育訓練体制、装備等の充実を図っている状態	消防団員の確保と活性化対策の推進及び消防団員の教育訓練体制、装備等の充実が図られる状態。	消防団員の確保と活性化対策の推進及び消防団員の教育訓練体制、装備等の充実を図りました。
活動指標	教育訓練派遣団員数	10 人	9 人
	事業費（千円）	58,979	49,805
	従事人工	8	8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

教育訓練派遣団員数は、都合により消防学校に入校できなかった団員がおり、目標より1人減となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

各分団に出向き若手団員とミーティングを行い意見・要望・悩み等を聴取し、若年者が活動しやすい環境の整備に取り組みながら、入団促進を図ってまいります。

所属	市民生活課	振興計画	第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』 4-16 安全・安心のまちの実現に努めます	施策	4-16-1 防犯対策と安全な消費生活の推進
----	-------	------	--	----	------------------------

創生総合戦略 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

目的

1 地域ぐるみの防犯対策を推進し、青少年の非行防止、さらには暴力の追放を図るとともに「かしこい消費生活」を推し進め、安全な環境、安心な暮らしの実現を図ります。

目標

1 防犯対策の推進

地域や学校ぐるみの防犯対策を関係機関と連携し推進するとともに防犯組織の育成を図ります。また、市民自らが防犯意識を高め、あいさつ運動や見守り隊等地域の防犯活動に積極的に参加するように働きかけます。さらには、パソコンやスマートフォン等のICT機器による犯罪被害や高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、家庭、地域、学校等と連携を深め被害にあわないための講習会を開くほか、青少年の非行防止と有害環境の浄化運動を推進します。安全・安心なまちづくりに向けて、市内の青色回転灯パトロール活動団体で組織する「青パト連絡会」の連携をすすめ、防犯パトロールを強化するとともに、地域の要望に沿った防犯灯の整備を進めます。また、平成24年7月に制定した「上山市暴力団排除条例」をもとに、関係機関・団体と協力し暴力追放運動を市民とともに推進します。

2 安全な消費生活の推進

消費者被害の救済と防止のため、消費生活相談員の資質向上に努め、情報の提供や相談体制の強化により「上山市消費生活センター」の充実を図ります。また、地域における学習の場を利用し、啓発活動を推進します。

実績

1 防犯対策の推進

(1) 関係機関と連携して、啓発活動により防犯意識の向上に努めました。また、パトロール活動などの地域の安全を守る活動を行いました。市内の小中高校生を対象に防犯ポスター・標語を募集し青少年への啓発に努めました（応募数：ポスター64点、標語504点）。また、夜間の安全性確保のため、市内全域のLED防犯灯2,950灯に加え、地区要望に基づき28灯のLED防犯灯を設置しました。

2 安全な消費生活の推進

(1) 「上山市消費生活センターだより」を年4回作成し隣組回覧しました。また、通院販売トラブル防止用シールを作成し全戸配布したほか、若年層への消費生活啓発として、市内小中学校及び20歳を対象にハンドブックを配布しました。消費者トラブルの啓発活動として、市内大型店舗での街頭啓発を5回、3地区での訪問啓発、消費生活相談員による研修会を2回実施しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	人口10万人当たり犯罪認知件数	235 件	315.6 件
	相談事案における消費生活センター認知率	80 %	88 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

啓発活動を通して防犯意識の浸透を図っていますが、暴行・傷害、詐欺などが増え、犯罪認知件数が増加する結果となりました。消費生活センター認知率は、広報や啓発活動、関係機関との連携により目標以上となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も関係機関と連携し防犯意識の向上のため防犯対策を推進します。消費生活センターについては相談員の研修の機会を確保し相談対応力の向上を図るとともに、引き続き啓発活動を推進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	自衛官募集費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・01一般管理費
施策	4-16-1 防犯対策と安全な消費生活の推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

法定受託事務である自衛官募集事務として、市民から自衛隊に対し親近感を持ってもらうため、新入隊員激励会の開催等を通し募集計画を支援します。

目的

自衛隊の募集計画の達成に向けて協力するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標			自衛官の募集に協力するとともに、自衛隊に対する親近感を持ってもらえるよう新入隊員激励会を開催しました。
活動指標			
	事業費（千円）	25	17
	従事人工	0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き自衛官募集に係る情報提供等に取り組むとともに、新入隊員激励会を開催するなど、募集計画の達成に向けて協力してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	消費者行政費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4-16-1 防犯対策と安全な消費生活の推進		創生総合戦略	5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進	

事業概要

消費生活相談員1名を雇用し、行政職員とともに消費者啓発活動及び消費生活相談を行います。

目的

上山市消費生活センター運営の充実を図り、消費者被害の防止と救済及び安全な消費生活を推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	消費生活センターの相談窓口を市民全体が周知している状態	相談者のほとんどが消費生活センターを認知している状態	相談件数における消費生活センターの認知率が上昇しました。
活動指標	注意喚起情報の隣組回覧回数	4回	4回
	注意喚起情報の全戸配布回数	1回	1回
事業費（千円）		3,078	2,756
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報隣組回覧や出張講座など啓発活動を実施し、消費生活センターの認知率の向上を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	防犯対策費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4-16-1 防犯対策と安全な消費生活の推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

防犯協会など関係団体の補助金や負担金を措置するとともに、少年の主張大会に要する費用や防犯灯LED化整備事業以外の防犯灯の修繕料等を措置します。

目的

地域や学校ぐるみの防犯対策を関係機関と連携して推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	地域や学校ぐるみの防犯対策を関係機関と連携して推進している状態	関係2団体へ補助している状態 少年の主張大会を開催している状態	関係2団体へ補助しました。少年の主張大会を開催しました。
活動指標	防犯協会等補助金・負担金支出団体数	2 団体	2 団体
	少年の主張大会の参加者数	350 人	50 人
事業費（千円）		568	437
従事人工		0.4	0.4

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

少年の主張大会では、学校の意向で中学生の傍聴を実施しなかったため参加者数が少なくなりました。また、事業費については、防犯灯の修繕が少なかったことによるものです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、関係機関・団体等と連携し、防犯思想の普及啓発に取り組んでまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	防犯施設整備事業費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4-16-1 防犯対策と安全な消費生活の推進		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

防犯灯LED化整備事業で整備した2,950基の防犯灯のリース契約、並びに同事業以外の防犯灯の新設及び更新の助成を行います。

目的

安全・安心なまちづくりに向けて、地域の防犯と住民の安全に欠かせない防犯灯を整備するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	地域の防犯と住民の安全に欠かせない防犯灯を整備している状態	夜間、住民が安全・安心できる生活道路を確保している状態	夜間、住民が安全で安心できる生活道路を確保している状態にしました。
活動指標	防犯灯LED化整備事業の実施灯数	2,950 灯	2,950 灯
	上記以外の防犯灯の新設灯数	14 灯	28 灯
	防犯灯更新に対する地区会への助成灯数	4 灯	3 灯
事業費（千円）		9,653	9,604
従事人工		0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

地区会からの防犯灯整備要望に対応するため、当初計画より多くの防犯灯を新規設置することとなりました。

目標の実現に向けた今後の取組

安全・安心なまちづくりのため、今後も必要な防犯設備の整備を推進してまいります。

所属

市民生活課

振興計画

第4章 うるおう『快適に暮らせるまち』
4-17 交通安全対策を推進します

施策

4-17-1 交通安全意識の高揚

創生総合戦略

該当なし

目的

- 1 家庭、地域、職場からの交通安全の推進を図り、上山市交通安全計画の推進と見直しを行うとともに、交通安全施設整備の促進を図ります。

目標

1 上山市交通安全計画の推進と交通安全施設整備の促進

本市の交通安全の指針となる「第10次上山市交通安全計画」を推進するとともに、時代に即応した見直しを進めます。さらに、交通事故の未然防止のため交通危険箇所の調査点検を行い、道路反射鏡や道路標示等の適正な交通安全施設の整備を図るとともに、歩道や自転車歩行者道等安全機能と快適性を高め、より安全な交通空間の整備に努めます。

2 家庭・地域・職場からの交通安全の推進

幼児から高齢者までの各年齢層に応じた交通安全教育を交通安全関係団体と連携して実施し、交通安全意識の高揚に努めます。特に、子どもの見本となる大人の交通マナーアップに努めます。

実績

1 上山市交通安全計画の推進と交通安全施設整備の促進

- (1) 関係機関と連携して、啓発活動等の各季交通安全運動に取り組みました。また、通学路点検等を実施し、危険箇所を把握し安全性の向上を図りました。交通安全施設の整備実績は、道路反射鏡の新設2基（金生1、矢来4）、修繕10基（金谷、上生居ほか）、ガードレールの設置4カ所51.9m（四ッ谷、西山ほか）、撤去2箇所38m（四ッ谷ほか）等です。

2 家庭・地域・職場からの交通安全の推進

- (1) 保育園、小中学校、各種団体等に交通安全専門指導員を派遣し、年齢に応じた交通安全指導を行いました。派遣実績は年間67回、対象者は3,891人です。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	人口1万人当たり交通事故発生件数	39件	28件
	交通安全教室の開催回数	90回	67回

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

小学校の統廃合の影響や、コロナ禍後は大人数での交通安全教室の開催が可能となったことなどから開催回数は減少しましたが、交通安全教室を通じて小中学生、高校生のほか、幼児や高齢者などの幅広い世代に指導・啓発を実施しました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、上山市交通安全計画の推進のため、関係機関と連携して交通安全運動を積極的に展開します。また、各世代に対応した交通安全教室を開催し、交通安全意識の高揚に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	交通安全対策費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・09交通安全対策費
施策	4-17-1 交通安全意識の高揚		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

交通安全専門指導員、交通安全指導員による安全教育や交通指導、啓発広報を行うとともに、道路照明灯やカーブミラー等の整備・管理を行います。

目的

交通事故防止のため、家族、地域、職場ぐるみで交通安全意識の高揚を図り、実践するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	交通事故発生件数の削減と死亡事故ゼロとなっている状態	交通事故発生件数の削減と死亡事故ゼロを目指す状態	交通事故発生件数は651件で令和4年度比で5件減少しました。死亡事故は令和4年度と同様、1件発生しました。
活動指標	交通安全広報紙隣組回覧回数	3回	3回
事業費（千円）		25,698	19,622
従事人工		0.6	0.6

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費については、運転免許証自主返納者への助成（2万円/人）が、実績で145人に留まったこと、光熱水費で残額が生じたことなどから、実績額が抑えられることとなりました。

目標の実現に向けた今後の取組

交通事故を減らし、死亡事故ゼロとするため、引き続き関係機関・団体と連携し、交通安全教育や啓発広報等を行ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	交通安全整備事業費	予算科目	01一般会計・02総務費・01総務管理費・09交通安全対策費
施策	4-17-1 交通安全意識の高揚		創生総合戦略	該当なし	

事業概要

交通安全対策特別交付金を活用し、カーブミラー等を整備します。

目的

交通事故を起こさない安全性や快適性が確保された道路環境を目指すため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	交通事故を起こさない安全性や快適性が確保された道路環境を整備している状態	カーブミラーの整備を継続して実施する状態	カーブミラーの整備を継続して実施しました。
活動指標	道路反射鏡修繕要望対応率	100 %	100 %
	事業費（千円）	830	760
	従事人工	0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、交通事故を起こさない安全性・快適性が確保された道路環境となるよう必要な設備等を整備してまいります。